

2013年度 日本地球化学会年会 全体タイムスケジュール

月日	会場	時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
9月10日(火)	ショートコース				日本地球化学会・日本鉱物科学会両学会合同ショートコース											
9月11日(水) 第1日	1C棟210	受付開始			J2 地球内部高圧					J2 地球内部高圧						
	1C棟306				J4 岩石水					J4 岩石水						
	A 1D棟201				G9 地球外物質					G2 古気候・古環境解析			夜間集会			
	B 1D棟204				G11 有機物					G12 水圏環境化学						
	C 1E棟203				G1 大気微量成分					G1 大気微量成分						
	D 1E棟303				G8 マントル物質		G14 固体地球(全般)			G14 固体地球(全般)		G15 固体地球(水)				
	E 1E棟401				G6 炭化水素資源					G3 放射性廃棄物						
	P 1E棟102,103				ポスター				コアタイム		ポスター					
	M 1E棟202								地球化学編集委員会							
9月12日(木) 第2日	G 大学会館	受付開始						総会		受賞講演会						
	A 1D棟201				S1 地球化学と生理学											
	B 1D棟204				G17 分析化学・物理化学											
	C 1E棟203				G10 同位体効果研究											
	D 1E棟303				G7 地球表層水圏											
	E 1E棟401				G4 鉱物境界面											
	P 1E棟102,103				ポスター											
	M 1E棟202								GJ編集委員会							
	ホテルグランド東雲												(移動)	懇親会		
9月13日(金) 第3日	A 1D棟201	受付開始			J1 地球外物質科学				J1 地球外物質科学							
	B 1D棟204				G18 放射性核種			G18 放射性核種								
	C 1E棟203				G5 微量元素・同位体				G13 海洋化学・大気水圏							
	D 1E棟303				G16 人文科学への応用				J3 炭酸塩							
	E 1E棟401				S2 初期地球と生命起源											
	P 1E棟102,103				ポスター				コアタイム		ポスター		閉会式 授賞式			
	M 1E棟202															
9月14日(土)	市民講演会							日本地球化学会市民講演会								

セッション名の前の数字はセッション番号に対応

## セッション概要

(口頭発表の会場と時間帯、ポスター発表の番号)

1:9月11日(水)、2:9月12日(木)、3:9月13日(金)

セッションテーマ	日程・会場・番号	
	口頭発表	ポスター発表***
	A, B, C, D, E 会場	P会場
<共通セッション>*		
J1 地球外物質科学の現状と未来	3A 午前・午後	なし
J2 地球内部・高圧化学**	11日 午前・午後 1C棟 210号室	11日 1C棟 302号室
J3 炭酸塩の地球化学	3D 午後	3P18-21
J4 水岩石相互作用**	11日 午前・午後 1C棟 306号室	11日 1C棟 302号室
<特別セッション>		
S1 地球化学と生理学：生体プロセスの研究から地球化学へ	2A 午前	なし
S2 初期地球と生命起源の地球化学	3E 午前	3P22-27
<学会基盤セッション>		
G1 大気微量成分の地球化学	1C 午前・午後	1P27-32
G2 古気候・古環境解析の地球化学	1A 午後	1P12-14
G3 放射性廃棄物と地球化学	1E 午後	1P46-47
G4 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用	2E 午前	3P38-40
G5 海洋における微量元素・同位体	3C 午前	3P12-13
G6 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環	1E 午前	1P45
G7 地球表層水圏と生態系	2D 午前	3P37
G8 マントル物質の化学とダイナミクス	1D 午前	1P33-36
G9 地球外物質・宇宙惑星化学	1A 午前	1P01-11
G10 同位体効果研究の地球化学への応用	2C 午前	
G11 現世および過去の有機物・微生物・生態系の地球化学	1B 午前	1P15-17
G12 水圏環境化学	1B 午後	1P18-26
G13 海洋化学・大気水圏(全般)	3C 午後	3P14-16
G14 固体地球化学(全般)	1D 午前・午後	1P37-43
G15 固体地球における水とその役割	1D 午後	1P44
G16 地球化学の人文科学への応用	3D 午前	なし
G17 分析化学・物理化学	2B 午前	3P28-36
G18 原発事故で放出された放射性核種の環境動態	3B 午前・午後	3P01-11

\* 日本地球化学会と日本鉱物科学会の共通セッションです。

\*\* J2 と J4 は鉱物科学会担当セッションのため、会場が異なります。

\*\*\* ポスター発表のコアタイムは J2・J4 セッションで 12:00~14:00、それ以外は 12:30~14:00 です。

【A会場】

【B会場】

セッション G9 地球外物質・宇宙惑星化学  
コンピーナ: 坂本尚義・若木重行・馬上 謙一

9:30-9:45 1A01

メソシデライト中ジルコンの局所同位体化学的研究  
○羽場 麻希子<sup>1</sup>, 山口 亮<sup>2</sup>, 鍵 裕之<sup>1</sup>, 長尾 敬介<sup>1</sup>, 日高 洋<sup>3</sup>(<sup>1</sup> 東京大学, <sup>2</sup> 国立極地研究所, <sup>3</sup> 広島大学)

9:45-10:00 1A02

ALH 84001 中のリン酸塩鉱物におけるシングル・グレイン U-Pb 年代分析  
○小池 みずほ<sup>1</sup>, 太田 祥宏<sup>1</sup>, 高畑 直人<sup>1</sup>, 佐野 有司<sup>1</sup>, 杉浦 直治<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 東京大学)

10:00-10:15 1A03

LL4-6 普通コンドライト隕石中リン酸塩鉱物の水含有量及び水素同位体組成  
○伊藤 正一<sup>1</sup>, 柳井 佳穂里<sup>2</sup>, サラ ラッセル<sup>3</sup>, ジム グリーンウッド<sup>4</sup>, 坂本 尚義<sup>2</sup>(<sup>1</sup> 北海道大学-京都大学, <sup>2</sup> 北海道大学, <sup>3</sup> ロンドン自然史博物館, <sup>4</sup> Wesleyan University)

10:15-10:30 1A04

角礫岩コンドライトに含まれるアルカリに富む岩片の K-Ca 同位体系  
○横山 立憲<sup>1</sup>, 三澤 啓司<sup>2</sup>, 岡野 修<sup>3</sup>, Chi-Yu Shih<sup>4</sup>, Laurence E. Nyquist<sup>5</sup>, Justin I. Simon<sup>5</sup>, 米田 成一<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 国立科学博物館, <sup>2</sup> 国立極地研究所, <sup>3</sup> 岡山大学, <sup>4</sup> ESCG/Jacobs, <sup>5</sup> NASA-JSC)

10:30-10:45 1A05

CM 隕石中の高い<sup>10</sup>Be/<sup>9</sup>Be 初生比を示す melilite に富む CAI  
○山野辺 正邦<sup>1</sup>, 中村 智樹<sup>1</sup>, 嘉数 勇基<sup>2</sup>, 石田 初美<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 東北大学大学院, <sup>2</sup> パリ大学)

10:45-11:00 1A06

カポエタ隕石に見られる一連の p-過程同位体異常  
○日高 洋<sup>1</sup>, 米田 成一<sup>2</sup>(<sup>1</sup> 広島大学, <sup>2</sup> 国立科学博物館)

11:00-11:15 1A07

初期太陽系の <sup>244</sup>Pu/U 比  
○三浦 弥生<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 東京大学)

11:15-11:30 1A08

高空間分解能 TOF-SIMS を用いた太陽風ヘリウムと物質との相互作用  
○馬上 謙一<sup>1</sup>, 坂口 勲<sup>2</sup>, 鈴木 拓<sup>2</sup>, 糸瀬 悟<sup>3</sup>, 松谷 幸<sup>3</sup>, 工藤 政都<sup>3</sup>, 石原 盛男<sup>4</sup>, 内野 喜一郎<sup>5</sup>, 坂本 尚義<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 北海道大学, <sup>2</sup> 物質・材料研究機構, <sup>3</sup> 日本電子, <sup>4</sup> 大阪大学, <sup>5</sup> 九州大学)

11:30-11:45 1A09

J-PARC (MUSE) ミュオンビームを用いた軽元素の深度プロファイル分析  
-地球惑星試料分析の実用化に向けて-  
○寺田 健太郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 大阪大学)

セッション G11 現世および過去の有機物・微生物・生態系の地球化学  
コンピーナ: 川幡穂高・奈良岡 浩・山本正伸・高野淑識

10:00-10:15 1B01

ヒノキ-カラマツ林におけるリター層-土壌層間炭素供給機構の解明  
○伊藤 健二<sup>1</sup>, 森泉 純<sup>1</sup>, 山澤 弘実<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 名古屋大学)

10:15-10:30 1B02

乾燥再湿潤による土壌有機物分解 CO<sub>2</sub> の 放出率・炭素同位体比の変化  
○酒井 義人<sup>1</sup>, 森泉 純<sup>1</sup>, 山澤 弘実<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 名古屋大学大学院)

10:30-10:45 1B03

南東フランス白亜系海洋無酸素事象 1b 層準の堆積岩中のアリルイソプレノイドからみた海洋生態系変動  
○安藤 卓人<sup>1</sup>, 沢田 健<sup>1</sup>, 西 弘嗣<sup>2</sup>, 高嶋 礼詩<sup>2</sup>(<sup>1</sup> 北海道大学, <sup>2</sup> 東北大学)

10:45-11:00 1B04

北海道白亜系堆積物中の陸上植物由来ケロジェンの加水分解性脂肪酸・アルカノール組成比による古環境変動の復元  
○宮田 遊磨<sup>1</sup>, 沢田 健<sup>1</sup>, 中村 英人<sup>1</sup>, 池田 慧<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 北海道大学)

11:00-11:15 1B05

メチル化剤 (TMAH, TMSH)、シリル化剤 (HMDS) を用いたケロジェンの熱化学分解分析  
○緒方 秀仁<sup>1</sup>, 沢田 健<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 北海道大学)

11:15-11:30 1B06

マリアナトラフ海底熱水中に溶存するアミノ酸の分布  
○淵田 茂司<sup>1</sup>, 水野 友貴<sup>1</sup>, 益田 晴恵<sup>1</sup>, 土岐 知弘<sup>2</sup>(<sup>1</sup> 大阪市立大学大学院, <sup>2</sup> 琉球大学)

11:30-11:45 1B07

微生物のヒ素酸化反応によって促進される堆積物へのヒ素固定-スベクションと機能遺伝子解析による新たなアプローチ  
○光延 聖<sup>1</sup>, 濱村 奈津子<sup>2</sup>, 片岡 剛文<sup>2</sup>, 白石 史人<sup>3</sup>, 坂田 昌弘<sup>1</sup>(<sup>1</sup> 静岡県立大学, <sup>2</sup> 愛媛大学, <sup>3</sup> 広島大学)

【C会場】

セッションG1 大気微量成分の地球化学

コンピーナ: 谷本浩志・豊田栄・松本潔・持田陸宏・角皆 潤

10:15-10:40 1C01 (招待講演)

化学イオン化質量分析法を用いたイソプレンのオゾン酸化で生成する二次有機エアロゾルの生成機構の考察

○猪俣 敏<sup>1</sup>, 廣川 淳<sup>2</sup>, 坂本 陽介<sup>2</sup>, 谷本 浩志<sup>1</sup>, 佐藤 圭<sup>1</sup>, 奥村 智憲<sup>3</sup>, 東野 達<sup>3</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所, <sup>2</sup>北海道大学, <sup>3</sup>京都大学)

10:40-10:55 1C02

グリーンランドアイスコア(Site-J)中の低分子ジカルボン酸の安定炭素同位体比

○河村 公隆<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北海道大学)

10:55-11:10 1C03

森林大気における水溶性有機態窒素エアロゾルの季節変動

○宮崎 雄三<sup>1</sup>, フピンチン<sup>2</sup>, 小野 かおり<sup>1</sup>, 河村 公隆<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北海道大学, <sup>2</sup>中国科学院)

11:10-11:25 1C04

日本の冬季における大気エアロゾル中の硫酸および微量元素濃度に対するアジア大陸の寄与

○坂田 昌弘<sup>1</sup>, 石川 友美<sup>1</sup>, 光延 聖<sup>1</sup>(<sup>1</sup>静岡県立大学)

11:25-11:40- 1C05

埼玉県所沢市で採取した大気粉じん中の希土類元素組成の特徴

○本多 将俊<sup>1</sup>(<sup>1</sup>環境省)

11:40-11:55 1C06

火山灰起源エアロゾル中の鉄の化学種同定と海水への溶解性の関係

○宮原 彩<sup>1</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup>, 古谷 浩志<sup>2</sup>, 植松 光夫<sup>2</sup>(<sup>1</sup>広島大学, <sup>2</sup>東京大学)

【D会場】

セッションG8 マントル物質の化学とダイナミクス

コンピーナ: 下田 玄・鈴木 勝彦・小木曾 哲・石川 晃

9:30-9:45 1D01

HIMU-FOZO-PREMA の関連: 中間的な同位体組成を持つマントル端成分に意味はあるのか?

○下田 玄<sup>1</sup>, 小木曾 哲<sup>2</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所, <sup>2</sup>京都大学)

9:45-10:00 1D02

太平洋最上部マントルのオスミウム同位体不均質性

○石川 晃<sup>1</sup>, 仙田 量子<sup>2</sup>, 谷 健一郎<sup>2</sup>, 鈴木 勝彦<sup>2</sup>, 石井 輝秋<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>海洋研究開発機構, <sup>3</sup>深田地質研究所)

10:00-10:15 1D03

EM-1 成分に富む海洋島玄武岩の親鉄性元素からみた起源

○仙田 量子<sup>1</sup>, 羽生 毅<sup>1</sup>, 石川 晃<sup>2</sup>, 川畑 博<sup>3</sup>, 高橋 俊郎<sup>1</sup>, 鈴木 勝彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>独)海洋研究開発機構, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>高知大)

10:15-10:30 1D04

マントルウェッジかんらん岩に捕獲された沈み込み起源のハロゲンと希ガス

○小林 真大<sup>1</sup>, 角野 浩史<sup>1</sup>, 長尾 敬介<sup>1</sup>, 石丸 聡子<sup>2</sup>, 荒井 章司<sup>3</sup>, 芳川 雅子<sup>4</sup>, 川本 竜彦<sup>4</sup>, 熊谷 仁孝<sup>4</sup>, 小林 哲夫<sup>5</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>熊本大学, <sup>3</sup>金沢大学, <sup>4</sup>京都大学, <sup>5</sup>鹿児島大学)

10:30-10:45 1D05

Low core-mantle boundary temperature inferred from the solidus of pyrolite

○野村 龍一<sup>1</sup>, 廣瀬 敬<sup>1</sup>, 上杉 健太郎<sup>2</sup>, 大石 泰生<sup>2</sup>, 土山 明<sup>3</sup>, 三宅 亮<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学, <sup>2</sup>高輝度光科学研究センター, <sup>3</sup>京都大学)

セッションG14 固体地球化学(全般)

コンピーナ: 折橋裕二・大野 剛・小宮 剛・山本伸次・角野浩史

11:00-11:15 1D06

地球大気及び内部の<sup>40</sup>Ar/<sup>36</sup>Arの時間的変動に対する実証的研究の再検討

○兼岡 一郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学)

11:15-11:30 1D07

熱水性鉱石の流体包有物中の窒素同位体比と窒素の起源

○大城 光洋<sup>1</sup>, 鹿児島 涉悟<sup>1</sup>, 高畑 直人<sup>1</sup>, 佐野 有司<sup>1</sup>, 長原 正人<sup>2</sup>, 野崎 達生<sup>3</sup>, 石橋 純一郎<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>九州大学大学院, <sup>3</sup>海洋研究開発機構)

11:30-11:45 1D08

逐次溶解法(BCR法)を用いた地球化学標準物質中の元素存在形態解析

○久保田 蘭<sup>1</sup>, 太田 充恒<sup>1</sup>, 岡井 貴司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>独立行政法人 産業技術総合研究所)

11:45-12:00 1D09

GANSEKI が便利-JAMSTEC 深海底岩石データベースの改修と多目的データベース網の整備

○富山 隆将<sup>1</sup>, 市山 佑司<sup>1</sup>, 堀川 博紀<sup>1</sup>, 相馬 伸介<sup>2</sup>, 佐藤 悠介<sup>2</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構, <sup>2</sup>(株) マリン・ワーク・ジャパン)

【E会場】

**セッション G6 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環  
コンピーナ：早稻田周・坂田将・鈴木徳行・佐野有司**

10:30-10:45 1E01

生産に伴うガス田坑井付随水の地化学温度変化

○奥村 文章<sup>1</sup>(<sup>1</sup>石油資源開発(株))

10:45-11:00 1E02

深部地下油層環境のメタン生成経路はCO<sub>2</sub>濃度依存的に変化する

○真弓 大介<sup>1</sup>, 坂田 将<sup>1</sup>, 前田 治男<sup>2</sup>, 宮川 喜洋<sup>2</sup>, 五十嵐 雅之<sup>2</sup>, 玉木 秀幸<sup>1</sup>, 竹内 美緒<sup>1</sup>, 鎌形 洋一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所, <sup>2</sup>国際石油開発帝石(株))

11:00-11:15 1E03

セスキテルペンの加水熱分解に由来するナフタレン類の特徴

○朝比奈 健太<sup>1</sup>, 鈴木 徳行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北海道大学)

11:15-11:30 1E04

沈み込み帯におけるマントル起源の炭素と硫黄のフラックス

○佐野 有司<sup>1</sup>, 鹿見島 涉悟<sup>1</sup>, 高畑 直人<sup>1</sup>, 丸岡 照幸<sup>2</sup>, フィシャー トビアス<sup>3</sup>, マーティー ベルナード<sup>4</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>筑波大学, <sup>3</sup>ニューメキシコ大学, <sup>4</sup>フランス国立科学研究センター)

11:30-11:45 1E05

火山からの揮発性物質放出量推定における課題

○篠原 宏志<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産総研)

11:45-12:00 1E06

Carbon geodynamic cycle in the continental crust

○M. Satish-Kumar<sup>1</sup>(<sup>1</sup>新潟大学)

【A会場】

【B会場】

セッションG2 古気候・古環境解析の地球化学  
 コンビナー：入野智久・渡邊 剛・中塚 武・横山祐典・原田尚美・長島佳菜

セッションG12 水圏環境化学  
 コンビナー：板井啓明・坂田昌弘・太田充恒・高橋嘉夫

14:00-14:15 1A10  
 エルニーニョ・南方振動(ENSO)と古気候研究  
 ○横山 祐典<sup>1</sup>、鈴木 淳<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学,<sup>2</sup>産業技術総合研究所)

15:00-15:15 1B08  
 黒瀬川河川水中の活性酸素主(ROS)の測定  
 ○Adebanjo Jacob Anifowose<sup>1</sup>、竹田 一彦<sup>1</sup>、佐久川 弘<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学大学院)

14:15-14:30 1A11  
 Bonaparte 湾海洋堆積物の化学分析による最終氷期最盛期の古環境推定  
 ○石輪 健樹<sup>1</sup>、横山 祐典<sup>1</sup>、池原 実<sup>2</sup>、上原 克人<sup>3</sup>、宮入 陽介<sup>1</sup>、鈴木 淳<sup>4</sup>、Obrochta Stephen<sup>1</sup>、池原 研<sup>4</sup>、木元 克典<sup>5</sup>、Julian Bourget<sup>6</sup>、松崎 浩之<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学,<sup>2</sup>高知大学,<sup>3</sup>九州大学,<sup>4</sup>産業技術総合研究所,<sup>5</sup>海洋研究開発機構,<sup>6</sup>西オーストラリア大学)

15:15-15:30 1B09  
 黒瀬川河川水中におけるジウロン、イルガロール、フェニトロチオンの濃度  
 ○Chikumbusko Chiziwa Kaonga<sup>1</sup>、竹田 一彦<sup>1</sup>、佐久川 弘<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学大学院)

14:30-14:45 1A12  
 テベット高原南部域の湖沼堆積物に基づく 19,000 年前以降の南西モンスーン変動の解析  
 ○松中 哲也<sup>1</sup>、西村 弥垂<sup>2</sup>、守田 益宗<sup>3</sup>、渡邊 隆広<sup>4</sup>、中村 俊夫<sup>5</sup>、Liping Zhu<sup>6</sup>、奈良 郁子<sup>4</sup>、今井 章雄<sup>7</sup>、笹 公和<sup>1</sup>、末木 啓介<sup>1</sup>、井筒 康裕<sup>2</sup>、蓮池 一哉<sup>2</sup>(<sup>1</sup>筑波大学,<sup>2</sup>東海大学,<sup>3</sup>岡山理科大学,<sup>4</sup>東北大学,<sup>5</sup>名古屋大学,<sup>6</sup>Chinese Academy of Sciences,<sup>7</sup>国立環境研究所)

15:30-15:45 1B10  
 湧水系の溶存酸素の三酸素同位体組成：なぜ富士山湧水系は酸素に富んでいるのか？  
 ○角皆 潤<sup>1</sup>、南 翔<sup>1</sup>、佐久間 博基<sup>1</sup>、大山 拓也<sup>1</sup>、小松 大祐<sup>1</sup>、中川 書子<sup>2</sup>、加藤 憲二<sup>3</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学,<sup>2</sup>北海道大学,<sup>3</sup>静岡大学)

14:45-15:00 1A13  
 富士北麓・山中湖における過去1万2000年間の植物バイオマーカーの組成変動  
 ○山本 真也<sup>1</sup>、内山 高<sup>1</sup>、奥水 達司<sup>2</sup>(<sup>1</sup>山梨県環境科学研究所,<sup>2</sup>山梨県立大学)

15:45-16:00 1B11  
 湖底の貧酸素化による琵琶湖底泥からのマンガン溶出挙動解析～酸化層厚減少にともなう拡散予測モデル～  
 ○板井 啓明<sup>1</sup>、兵部 唯香<sup>1</sup>、田辺 信介<sup>1</sup>(<sup>1</sup>愛媛大学)

15:00-15:15 1A14  
 長鎖ジオール・メチルアルカノエイトを用いた北西太平洋中部日本沖の過去3万年間の海洋表層水温変動の復元  
 ○三枝樹 慧<sup>1</sup>、沢田 健<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北海道大学 理学院)

16:00-16:15 1B12  
 湛水期・落水期の水田土壌の気相率が溶存ヒ素およびカドミウム濃度に与える影響  
 ○中村 乾<sup>1</sup>、加藤 英孝<sup>1</sup>、鈴木 克拓<sup>2</sup>、本間 利光<sup>3</sup>(<sup>1</sup>独)農業環境技術研究所,<sup>2</sup>(<sup>1</sup>独)農研機構 中央農業総合研究センター,<sup>3</sup>新潟県農業総合研究所)

15:15-15:30 1A15  
 北大西洋の堆積水銀量の第四紀変動史：現在から255万年前  
 水田 麻美<sup>1</sup>、○藤田 周<sup>1</sup>、山下 剛史<sup>1</sup>、北 逸郎<sup>1</sup>、大野 正夫<sup>1</sup>、桑原 義博<sup>1</sup>、林 辰弥<sup>2</sup>、長谷川 英尚<sup>3</sup>、千代延 俊<sup>4</sup>、佐藤 時幸<sup>5</sup>(<sup>1</sup>九州大学大学院,<sup>2</sup>御船町恐竜博物館,<sup>3</sup>環境科学技術研究所,<sup>4</sup>地球環境産業技術研究機構,<sup>5</sup>秋田大学)

16:15-16:25 休憩

16:25-16:45 1B13 (招待講演)  
 残留性有機汚染物質の海洋水産資源への曝露量を予測する～多媒体モデル-生態系モデル-生物濃縮モデルの統合  
 ○河合 徹<sup>1</sup>、半藤 逸樹<sup>2</sup>、鈴木 規之<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所,<sup>2</sup>総合地球環境学研究所)

15:30-15:45 休憩

15:45-16:00 1A16  
 250万年前から290万年前の堆積物に基づく、氷床拡大縮小に伴う透光帯水塊構造の気候変動  
 ○宮川 千鶴<sup>1</sup>、水田 麻美<sup>1</sup>、山下 剛史<sup>1</sup>、北 逸郎<sup>1</sup>、大野 正夫<sup>1</sup>、桑原 義博<sup>1</sup>、林 辰弥<sup>2</sup>、佐藤 時幸<sup>3</sup>(<sup>1</sup>九州大学大学院,<sup>2</sup>御船町恐竜博物館,<sup>3</sup>秋田大学)

16:45-17:00 1B14  
 土壌中における有機ヒ素化合物の吸着挙動に関する研究  
 ○田中 雅人<sup>1</sup>、高橋 嘉夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学)

16:00-16:15 1A17  
 底生有孔虫 *Uvigerina* 属の炭素酸素安定同位体組成の環境指標としての有用性の再検討 一種間および個体間の同位体組成比較から  
 ○田中 崇史<sup>1</sup>、石村 豊穂<sup>1</sup>、木元 克典<sup>2</sup>、原田 尚美<sup>2</sup>、鈴木 淳<sup>3</sup>(<sup>1</sup>茨城工業高等専門学校,<sup>2</sup>海洋研究開発機構,<sup>3</sup>産業技術総合研究所)

17:00-17:15 1B15  
 鉄還元菌を用いたマンガン団塊中のREE同時抽出・濃縮法  
 ○藤本 潤<sup>1</sup>、田中 万也<sup>1</sup>、高橋 義夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学大学院)

16:15-16:30 1A18  
 底生有孔虫の炭素酸素安定同位体組成・”vital effect”の全体像を捉える～環境指標としての高精度化とその有効活用をめざして～  
 ○石村 豊穂<sup>1</sup>、角皆 潤<sup>2</sup>、長谷川 四郎<sup>3</sup>、中川 書子<sup>4</sup>、大井 剛志<sup>5</sup>、北里 洋<sup>6</sup>、菅 寿美<sup>6</sup>、豊福 高志<sup>6</sup>(<sup>1</sup>茨城工業高等専門学校,<sup>2</sup>名古屋大学,<sup>3</sup>熊本大学,<sup>4</sup>北海道大学,<sup>5</sup>明治大学,<sup>6</sup>海洋研究開発機構)

17:15-17:30 1B16  
 逐次溶解法とXAFS法を併用した地質標準試料中のZnの存在形態の研究  
 ○太田 充恒<sup>1</sup>、久保田 蘭<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所)

16:30-16:45 1A19  
 高緯度ハマサンゴを用いた、酸素同位体比( $\delta^{18}O$ )とSr/Ca比の骨格成長量依存性の評価  
 ○平林 頌子<sup>1</sup>、横山 祐典<sup>1</sup>、鈴木 淳<sup>2</sup>、川久保 友太<sup>1</sup>、宮入 陽介<sup>3</sup>、岡井 貴司<sup>2</sup>、野島 哲<sup>4</sup>(<sup>1</sup>東京大学大学院理学系研究科,<sup>2</sup>産業技術総合研究所,<sup>3</sup>東京大学大気海洋研究所,<sup>4</sup>九州大学)

16:45-17:00 1A20  
 カソードルミネッセンスを用いた個別石英粒子の供給源推定  
 ○長島 佳菜<sup>1</sup>、鹿山 雅裕<sup>2</sup>、西戸 裕嗣<sup>3</sup>、豊田 新<sup>3</sup>、黒崎 泰典<sup>4</sup>(<sup>1</sup>独立行政法人海洋研究開発機構,<sup>2</sup>広島大学,<sup>3</sup>岡山理科大学,<sup>4</sup>鳥取大学)

17:00-17:15 1A21  
 化学風化作用の侵食による律速過程を考慮した数値モデリング  
 ○野津 太一<sup>1</sup>、田近 英一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学)

## 【C会場】

## 【D会場】

## セッションG1 大気微量成分の地球化学

コンピーナ: 谷本浩志・豊田栄・松本潔・持田陸宏・角皆 潤

14:00-14:15 1C07

元素状炭素の沈着量と沈着過程

○松本 潔<sup>1</sup>, 篠原 広徳<sup>1</sup>, 兼保 直樹<sup>2</sup>, 山口 高志<sup>3</sup>, 秋山 雅行<sup>3</sup>, 野口 泉<sup>3</sup>, 入野 智久<sup>4</sup>(<sup>1</sup>山梨大学, <sup>2</sup>産業技術総合研究所, <sup>3</sup>北海道総合研究機構, <sup>4</sup>北海道大学)

14:15-14:30 1C08

都市域における乾性沈着 HNO<sub>3</sub> の起源について○大山 拓也<sup>1</sup>, 角皆 潤<sup>1</sup>, 小松 大祐<sup>1</sup>, 中川 書子<sup>2</sup>, 野口 泉<sup>3</sup>, 山口 高志<sup>3</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学大学院環境学研究科, <sup>2</sup>北海道大学大学院理学院, <sup>3</sup>北海道立総合研究機構環境科学研究センター)

14:30-14:55 1C09 (招待講演)

東南アジア域における船舶を用いた大気中メタンの長期連続観測と発生源解析

○奈良 英樹<sup>1</sup>, 谷本 浩志<sup>1</sup>, 向井 人史<sup>1</sup>, 野尻 幸宏<sup>1</sup>, 遠嶋 康徳<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所)

14:55-15:10 1C10

インバージョン解析による全球大気中二酸化炭素のフラックス推定: 観測値の効果

○白井 知子<sup>1</sup>, 石澤 みさ<sup>1</sup>, Ruslan Zhuravlev<sup>2</sup>, Alexander Ganshin<sup>2</sup>, Dmitry Belikov<sup>3</sup>, 齊藤 誠<sup>1</sup>, 小田 知宏<sup>4</sup>, Vinu Valsala<sup>5</sup>, Edward J. Dlugokencky<sup>6</sup>, Pieter. P. Tans<sup>6</sup>, Shamil Maksyutov<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所, <sup>2</sup>Central Aerological Observatory, <sup>3</sup>国立環境研究所/国立極地研究所, <sup>4</sup>CIRA/CSU or NOAA, <sup>5</sup>Indian Institute for Tropical Meteorology, <sup>6</sup>NOAA)

15:10-15:25 1C11

大気中一酸化二窒素同位体の全球モデリング

○石島 健太郎<sup>1</sup>, 豊田 栄<sup>2</sup>, 滝川 雅之<sup>1</sup>, 須藤 健悟<sup>3</sup>, 青木 周司<sup>4</sup>, 中澤 高貴<sup>4</sup>, 吉田 尚弘<sup>2</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構, <sup>2</sup>東京工業大学, <sup>3</sup>名古屋大学, <sup>4</sup>東北大学)

15:25-15:40 1C12

SMILESによる中部成層圏~下部中間圏オゾン同位体観測

○佐藤 知紘<sup>1</sup>, 佐川 英夫<sup>2</sup>, 吉田 尚弘<sup>3</sup>, 笠井 康子<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学大学院, <sup>2</sup>情報通信研究機構, <sup>3</sup>東京工業大学)

15:40-15:55 1C13

産業革命前の大気中二酸化炭素の緯度分布

○松枝 秀和<sup>1</sup>(<sup>1</sup>気象研究所)

## セッションG14 固体地球化学(全般)

コンピーナ: 折橋裕二・大野 剛・小宮 剛・山本伸次・角野浩史

14:00-14:15 1D10

Geochemistry of tholeiitic basalts from the Nyos volcano in the Oku Volcanic Group (Cameroon Volcanic Line), west Africa: constraints on petrogenesis

○Asobo N.E. Asaah<sup>1</sup>, 横山 哲也<sup>1</sup>, Festus T. Aka<sup>2</sup>, 臼井 寛裕<sup>1</sup>, Mengjo J. Wirmvem<sup>3</sup>, Boris Chako Tchamabe<sup>3</sup>, 大場 武<sup>3</sup>, Gregory Tanyileke<sup>2</sup>, Joseph V. Hell<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学, <sup>2</sup>Institute of Mining and Geological Research, <sup>3</sup>東海大学)

14:15-14:30 1D11

秋吉石灰岩地域の河川堆積物の粒径別 <sup>87</sup>Sr/<sup>86</sup>Sr 比○城森 由佳<sup>1</sup>, 南 雅代<sup>2</sup>, 太田 充恒<sup>3</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学大学院環境学研究科, <sup>2</sup>名古屋大学年代測定総合研究センター, <sup>3</sup>産業技術総合研究所)

14:30-14:45 1D12

岐阜県美濃赤坂石灰岩地帯に発達する土壌の地球化学的特徴

○上野 振一郎<sup>1</sup>, 杉谷 健一郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学)

14:45-15:00 1D13

東北地方南部地域における基盤岩類の元素濃度の特徴とその変化

○御子柴 真澄<sup>1</sup>, 高橋 浩<sup>1</sup>, 岡井 貴司<sup>1</sup>, 金井 豊<sup>1</sup>, 久保 和也<sup>1</sup>, 今井 登<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所)

15:00-15:15 1D14

冥王代ジルコン中に含まれるアバタイト包有物を用いた初期地殻の推定

○山本 伸次<sup>1</sup>, 小宮 剛<sup>1</sup>, 坂田 周平<sup>2</sup>, 平田 岳史<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>京都大学)

15:15-15:30 1D15

九州地方, 中期中新世花崗岩類において新たに見出された北北西方向のマグマ生成場の移行

○折橋 裕二<sup>1</sup>, 安間 了<sup>2</sup>, 新正 裕尚<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>筑波大学, <sup>3</sup>東京経済大学)

15:30-15:50 1D16 (招待講演)

苦鉄質包有岩中のジルコンを用いた、丹沢トータル岩下の島孤下部地殻の年代推定

○鈴木 和恵<sup>1</sup>, 山本 伸二<sup>2</sup>, 李 毅兵<sup>3</sup>, 平田 岳史<sup>4</sup>, 昆 慶明<sup>5</sup>, 加藤 泰浩<sup>2</sup>, 藤永 公一郎<sup>2</sup>, 高谷 雄太郎<sup>6</sup>, 大森 聡一<sup>7</sup>, 丸山 茂徳<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>中国地質科学院, <sup>4</sup>京都大学, <sup>5</sup>独立行政法人産業技術総合研究所, <sup>6</sup>東京大学, <sup>7</sup>放送大学)

## セッションG15 固体地球における水とその役割

コンピーナ: 岩森光・小木曾哲・石橋純一郎・野口直樹・益田晴恵

16:15-16:30 1D17

トリチウム指標を用いた深部流体の化学組成の推定

○高橋 浩<sup>1</sup>, 風早 康平<sup>1</sup>, 高橋 正明<sup>1</sup>, 稲村 明彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所)

16:30-16:45 1D18

ハロゲン元素及び <sup>129</sup>I/<sup>127</sup>I 比から推定される北海道温泉水の起源○岡部 宣章<sup>1</sup>, 村松 康行<sup>1</sup>, 新井 美香子<sup>1</sup>, 松崎 浩之<sup>2</sup>, 高橋 正明<sup>3</sup>, 風早 康平<sup>3</sup>(<sup>1</sup>学習院大学, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>産業技術総合研究所)

16:45-17:00 1D19

甲府盆地周縁の新第三紀花崗岩体周辺に分布する非火山性温泉の水質および安定同位体の特徴

○谷口 無我<sup>1</sup>, 村松 容一<sup>2</sup>, 千葉 仁<sup>3</sup>, 大場 武<sup>4</sup>, 奥村 文章<sup>5</sup>, 山室 真澄<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学大学院, <sup>2</sup>東京理科大学, <sup>3</sup>岡山大学, <sup>4</sup>東海大学, <sup>5</sup>石油資源開発(株)技術研究所)

17:00-17:15 1D20

沖縄トラフにおける海底熱水中の Sr 同位体比の比較、またそこから導かれた海底下における固相側の情報について

○土岐 知弘<sup>1</sup>, 野原 佑<sup>1</sup>, 浦田 義明<sup>1</sup>, 新城 竜一<sup>1</sup>, 石橋 純一郎<sup>2</sup>(<sup>1</sup>琉球大学, <sup>2</sup>九州大学)

17:15-17:30 1D21

沖縄トラフ海底熱水域の熱水性鉱石中の重晶石の ESR 年代測定

○藤原 泰誠<sup>1</sup>, 豊田 新<sup>1</sup>, 内田 乃<sup>1</sup>, 石橋 純一郎<sup>2</sup>, 中井 俊一<sup>3</sup>, 賞雅 朝子<sup>3</sup>(<sup>1</sup>岡山理科大学, <sup>2</sup>九州大学, <sup>3</sup>東京大学)

【E会場】

セッション G3 放射性廃棄物と地球化学

コンピーナ: 日高洋・大貫敏彦・吉田英一・河田陽介

14:00-14:30 1E07 (招待講演)

放射性セシウムの環境動態研究の現状-福島長期環境動態研究(F-TRACE)プロジェクトについて-

○新里 忠史<sup>1</sup>, 大山 卓也<sup>1</sup>, 舟木 泰智<sup>1</sup>, 北村 哲浩<sup>1</sup> (<sup>1</sup>日本原子力研究開発機構)

14:30-14:45 1E08

セシウムを構造規定剤とした天然ゼオライトからのポルサイトの合成

○神谷 奈津美<sup>1</sup>, 戸田 鉄也<sup>1</sup>, 朝槻 一仁<sup>1</sup>, 横森 慶信<sup>1</sup> (<sup>1</sup>防衛大学校)

14:45-15:00 1E09

北海道幌延地域のポーリングコアの全岩化学組成に基づくナチュラルアナログ研究

○村上 拓馬<sup>1</sup>, 水野 崇<sup>1</sup> (<sup>1</sup>日本原子力研究開発機構)

15:00-15:15 1E10

断層の構造特性とバリア機能との相関に関する検討

○吉田 英一<sup>1</sup>, 山本 鋼志<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大学)

15:15-15:30 1E11

堆積岩・花崗岩中の酸化バンドにおける元素の移動

○山本 鋼志<sup>1</sup>, 吉田 英一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大学)

15:30-15:45 1E12

希土類資源開発と放射性物質の管理

○河田 陽介<sup>1</sup> (<sup>1</sup>三菱マテリアル株式会社)



第1日目(9月11日)ポスターセッション  
ポスター会場(1E棟1階P会場),コアタイム 12:30~14:00

セッション G9 地球外物質・宇宙惑星化学

1P01  
Murchison 隕石中の可溶性分画有機物の赤外分光及び質量スペクトル  
○山下 陽平<sup>1</sup>, 奈良岡 浩<sup>1</sup>, 北島 富美雄<sup>1</sup> (九州大学)

1P02  
TIMS 及び MC-ICP-MS を用いた隕石の Ni 同位体分析  
○宮本 恒<sup>1</sup>, 山下 勝行<sup>1</sup> (岡山大学)

1P03  
非共鳴型 Laser SNMS による Pb 同位体比測定手法の開発  
○中林 誠<sup>1</sup>, 寺田 健太郎<sup>1</sup>, 豊田 岐聡<sup>1</sup>, 中村 亮介<sup>2</sup>, 石原 盛男<sup>1</sup>, 青木 順<sup>1</sup>, 日野 裕太<sup>1</sup>, 兼松 泰男<sup>2</sup> (大阪大学大学院, 大阪大学)

1P04  
初期太陽系における同位体均一化プロセスの理解をめざして: マーチソン隕石から抽出した多様なヒボナイト包有物  
○比屋根 肇<sup>1</sup>, 福田 航平<sup>1</sup> (東京大学)

1P05  
月表土に含まれる微小焼結粒子の U-Pb 年代測定  
○坂本 直樹<sup>1</sup>, 日高 洋<sup>1</sup> (広島大学)

1P06  
ユークライトの希土類元素、Ba および Sr 同位体研究  
○世羅 浩平<sup>1</sup>, 日高 洋<sup>1</sup>, 米田 成一<sup>2</sup> (広島大学, 国立科学博物館)

1P07  
狭山隕石 (CM2) のコンドリュールに見られるアルカリ元素の再分配  
○樋口 卓哉<sup>1</sup> (広島大学)

1P08  
FUN ヒボナイト包有物に関する同位体的研究  
○福田 航平<sup>1</sup>, 比屋根 肇<sup>1</sup>, 佐々木 翔吾<sup>1</sup>, 三河内 岳<sup>1</sup>, 藤谷 涉<sup>2</sup>, 高畑 直人<sup>3</sup>, 佐野 有司<sup>3</sup>, 森下 祐一<sup>4</sup> (東京大学大学院, マックスプランク化学研究所, 東京大学, 静岡大学)

1P09  
局所 Sm 同位体分析に基づく太陽系内高温凝縮物の宇宙線照射履歴  
○豊田 和代<sup>1</sup>, 日高 洋<sup>1</sup> (広島大学)

1P10  
CV コンドライト CAI のストロンチウム同位体異常と 26Al-26Mg 年代学  
○明星 邦弘<sup>1</sup>, 横山 哲也<sup>1</sup>, 佐野 有司<sup>2</sup>, 高畑 直人<sup>2</sup>, 杉浦 直治<sup>2</sup> (東京工業大学, 東京大学)

1P11  
炭素質コンドライト隕石中に含まれる白金族元素の局所分析  
○伊勢田 大輔<sup>1</sup> (広島大学)

セッション G2 古気候・古環境解析の地球化学

1P12  
加熱法により抽出した石筍に含まれる流体包有物の水の同位体組成  
○仲本 壮志<sup>1</sup>, 植村 立<sup>2</sup>, 儀保 雅一<sup>2</sup>, 三嶋 悟<sup>2</sup>, 浅海 竜司<sup>2</sup> (琉球大学大学院, 琉球大学)

1P13  
飼育クロマグロ稚魚 (34 日齢) の耳石の安定同位体組成 ~環境指標としての耳石活用を目指して~  
○鐵 智美<sup>1</sup>, 石村 豊穂<sup>1</sup>, 北川 貴士<sup>2</sup>, 鈴木 淳<sup>3</sup>, 木村 伸吾<sup>2</sup> (茨城工業高等専門学校, 東京大学, 産業技術総合研究所)

1P14  
チャート中の鉄化学種変化で読み解く三疊紀後期の気候変動  
○中田 亮一<sup>1</sup>, 小川 和広<sup>2</sup>, 鈴木 紀毅<sup>2</sup>, 高橋 聡<sup>3</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup> (広島大学, 東北大学, 東京大学)

セッション G11 現世および過去の有機物・微生物・生態系の地球化学

1P15  
有明海湾奥部河口域および曽根干潟における表層堆積物フミン酸構造の環境による変化

○岩本 佑耶<sup>1</sup>, 川口 哲平<sup>1</sup>, 山内 敬明<sup>1</sup>, 奈良岡 浩<sup>1</sup> (九州大学)

1P16  
光合成生物の新規バイオマーカー:遊離態フタルイミド  
○養田 太一<sup>1</sup>, 荒木 涼子<sup>2</sup>, 野本 信也<sup>2</sup> (筑波大学大学院生命環境, 筑波大学大学院数理工学)

1P17  
テトラエーテル脂質を用いた古環境指標の分子種依存性  
○太田 名津美<sup>1</sup>, 北島 富美雄<sup>1</sup>, 奈良岡 浩<sup>1</sup> (九州大学大学院)

セッション G12 水圏環境化学

1P18  
水試料の放射性炭素分析のための前処理法の比較検討  
○南 雅代<sup>1</sup>, 荒巻 能史<sup>2</sup>, 高橋 浩<sup>3</sup>, 中村 俊夫<sup>1</sup> (名古屋大学, 国立環境研究所, 産業技術総合研究所)

1P19  
山地森林流域における渓流水質の経年変化とその環境因子の評価  
○池田 英史<sup>1</sup>, 石井 孝<sup>1</sup>, 今村 正裕<sup>1</sup>, 中野 大助<sup>1</sup>, 山本 亮介<sup>1</sup> (一般財団法人 電力中央研究所)

1P20  
ヘッドスペース法による水試料の放射性炭素測定のための前処理法の検討  
○高橋 浩<sup>1</sup>, 半田 宙子<sup>1</sup> (産業技術総合研究所)

1P21  
仙台平野における地下水資源調査  
○新谷 毅<sup>1</sup> (大阪市立大学大学院)

1P22  
ミネラルウォーターのウラン・トリウム濃度  
○丸山 誠史<sup>1</sup>, 服部 健太郎<sup>1</sup>, 平田 岳史<sup>1</sup> (京都大学)

1P23  
硫黄安定同位体比による沖縄本島における湧水中の硫酸イオン濃度上昇の要因解析  
○松本 理誠<sup>1</sup>, 植村 立<sup>2</sup>, 宮城 正由<sup>2</sup>, 藤村 弘行<sup>2</sup>, 新垣 雄光<sup>2</sup>, 棚原 朗<sup>2</sup> (琉球大学大学院, 琉球大学)

1P24  
大阪北摂地域における淀川 4 支流の中の微量元素の分布と基盤岩との関係  
○EVEN Emilie<sup>1</sup> (大阪市立大学院)

1P25  
富山県内における降水の水素・酸素同位体組成の特徴  
○岡北 渚沙<sup>1</sup>, 張 勁<sup>1</sup>, 上田 晃<sup>1</sup> (富山大学)

1P26  
バングラデシュの下部帯水層へのヒ素の溶出可能量の評価  
○荒谷 匠<sup>1</sup>, 板井 啓明<sup>2</sup>, 横山 由佳<sup>1</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup> (広島大学理学研究科, 愛媛大学)

セッション G1 大気微量成分の地球化学

1P27  
利尻で観測した Black Carbon の変動について  
○朱 春茂<sup>1</sup>, 吉川 久幸<sup>1</sup>, 入野 智久<sup>1</sup>, 遠嶋 康徳<sup>2</sup> (北海道大学, 国立環境研究所)

1P28  
2009/2010 年のエルニーニョ時に西部太平洋で観測された大気ポテンシャル酸素の緯度分布の変化  
○遠嶋 康徳<sup>1</sup>, 向井 人史<sup>1</sup>, 野尻 幸宏<sup>1</sup>, 町田 敏暢<sup>1</sup>, 寺尾 有希夫<sup>1</sup> (国立環境研究所)

1P29  
福岡の PM<sub>2.5</sub> 中全炭素の <sup>14</sup>C 濃度・δ<sup>13</sup>C 季節変動  
○早田 葵<sup>1</sup>, 池盛 文数<sup>2</sup>, 肥後 隼人<sup>3</sup>, 中島 大介<sup>4</sup>, 南 雅代<sup>5</sup>, 中村 俊夫<sup>5</sup> (名古屋大学大学院環境学研究所, 名古屋大学大学院環境学研究所, 名古屋市環境科学調査センター, 福岡市博多区保健福祉センター, 国立環境研究所, 名古屋大学 年代測定総合研究センター)

1P30

第1日目(9月11日)ポスターセッション  
ポスター会場(1E棟1階P会場),コアタイム 12:30~14:00

1D-1HNMRを用いた森林大気エアロゾルに含まれる水溶性有機物の化学的特徴の解析

○岩本 洋子<sup>1</sup>, 韓 月梅<sup>2</sup>, 持田 陸宏<sup>2</sup>, 河村 公隆<sup>3</sup>, Stefano Decesari<sup>4</sup>, Maria Cristina Facchini<sup>4</sup>(<sup>1</sup>金沢大学,<sup>2</sup>名古屋大学,<sup>3</sup>北海道大学,<sup>4</sup>National Reserach Council)

1P31

札幌における大気エアロゾル中微量元素の濃度変動について

○澤崎 和也<sup>1</sup>, 内田 阿岐<sup>2</sup>, 南 秀樹<sup>2</sup>, 谷野 賢二<sup>2</sup>, 植松 光夫<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東海大学大学院,<sup>2</sup>東海大学,<sup>3</sup>東京大学)

1P32

沖縄本島における降水水中の<sup>210</sup>Pb、<sup>7</sup>Beの季節変動

○座間味 佳孝<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立大学法人琉球大学大学院)

### セッション G8 マントル物質の化学とダイナミクス

1P33

太古代バーバートン玄武岩の Lu-Hf 同位体分析 ~マントル初期進化の解明に向けて~

○山口 能央<sup>1</sup>, 飯塚 毅<sup>1</sup>, 外西 奈津美<sup>1</sup>, 中井 俊一<sup>1</sup>, ドゥビット マーティン<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学,<sup>2</sup>ケープタウン大)

1P34

マグマオーシャン固結直後の火成活動と hidden reservoir の生成条件

○近藤 望<sup>1</sup>, 小木曾 哲<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京都大学)

1P35

ジルコンの U-Pb 年代を用いた阿武隈花崗岩類の 新期-古期貫入関係の再検

○昆 慶明<sup>1</sup>, 高木 哲一<sup>1</sup>, 亀井 淳志<sup>2</sup>, 下田 玄<sup>1</sup>(<sup>1</sup>地質調査総合センター・産総研,<sup>2</sup>島根大学大学院総合理工学研究科)

1P36

EPMA による高精度かんらん石分析にもとづくルイビルマントルブルームの不均質性の評価

○町田 嗣樹<sup>1</sup>, Li-Hui Chen<sup>2</sup>(<sup>1</sup>早稲田大学創造理工学部,<sup>2</sup>南京大学)

### セッション G14 固体地球化学(全般)

1P37

IODP 東北地方太平洋沖地震調査掘削(JFAST)で得られたコア試料の微量元素分析

石川 剛志<sup>1</sup>, 〇松岡 淳<sup>2</sup>, James Mori<sup>3</sup>, Frederick Chester<sup>4</sup>, 江口 暢久<sup>1</sup>, Sean Toczko<sup>1</sup>, Expedition 343 乗船研究者一同<sup>5</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構,<sup>2</sup>(株)マリン・ワーク・ジャパン,<sup>3</sup>京都大学,<sup>4</sup>Texas A&M University,<sup>5</sup>IODP)

1P38

長崎県島原半島、小浜温泉の温泉沈殿物の鉱物学的・地球化学的特徴

○池端 慶<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学)

1P39

高原火山、富士山溶岩ドームにおける苦鉄質包有物から推定されたマグマ混合機構

○田島 義之<sup>1</sup>, 荒川 洋二<sup>1</sup>, 池端 慶<sup>1</sup>, 金井 啓通<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学)

1P40

東伊豆単成火山群岩ノ山-伊雄山火山列の岩石学的研究

○金井 啓通<sup>1</sup>, 荒川 洋二<sup>2</sup>, 池端 慶<sup>2</sup>, 田島 義之<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学大学院,<sup>2</sup>筑波大学)

1P41

黒潮古陸は再浮上するか? —地球化学図からテクトニクスを読む—

○田中 剛<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学 年代測定総合研究センター)

1P42

美濃帯三畳紀-ジュラ紀層状チャートの堆積環境

○春田 泰宏<sup>1</sup>, 山本 鋼志<sup>1</sup>, 足立 守<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学)

1P43

東南極 Lützw-Holm Complex, Rundvågshetta に産する苦鉄質岩岩脈の産状と組成

○宮本 知治<sup>1</sup>, 角替 敏昭<sup>2</sup>, Daniel J. Dunkley<sup>3</sup>, 加藤 睦実<sup>4</sup>(<sup>1</sup>九州大学,<sup>2</sup>筑波大学,<sup>3</sup>Curtin University,<sup>4</sup>千葉大学)

### セッション G15 固体地球における水とその役割

1P44

EPMAを用いた粘土鉱物の化学定量分析の検討

○島田 和彦<sup>1</sup>, 三好 陽子<sup>2</sup>, 上原 誠一郎<sup>1</sup>, 石橋 純一郎<sup>1</sup>, 佐藤 暢<sup>3</sup>, 楊 守業<sup>4</sup>(<sup>1</sup>九州大学,<sup>2</sup>産業総合研究所,<sup>3</sup>専修大学,<sup>4</sup>同済大学(上海))

### セッション G6 炭化水素資源の地球化学・深部炭素循環

1P45

水溶性ガス田の更新世堆積物中の地下微生物のメタン生成ポテンシャル

吉岡 秀佳<sup>1</sup>, 持丸 華子<sup>1</sup>, 〇坂田 将<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所)

### セッション G3 放射性廃棄物と地球化学

1P46

土岐花崗岩中の変質部及び断層部を対象とした微量元素の挙動

○荒井 佑介<sup>1</sup>, 本多 照幸<sup>1</sup>, 岩月 輝希<sup>2</sup>, 野村 雅夫<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京都市大,<sup>2</sup>日本原子力研究開発機構,<sup>3</sup>東京工業大学)

1P47

北海道北部に分布する稚内層の断層部における微量元素の存在形態

○中林 和也<sup>1</sup>, 本多 照幸<sup>1</sup>, 野村 雅夫<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京都市大学,<sup>2</sup>東京工業大学)

【A会場】

【B会場】

**セッションS1 地球化学と生理学：生体プロセスの研究から地球化学へ**

コンピーナ：沢田 健・カ石 嘉人・中村英人

9:30-10:00 2A01 (招待講演)

海洋ハプト藻のバイオマーカー脂質分子アルケノン・アルケンの合成経路と生理機能

○白岩 善博<sup>1</sup>, 沢田 健<sup>2</sup>, JST/CREST 白岩チーム<sup>3</sup>(<sup>1</sup>筑波大学, <sup>2</sup>北海道大学, <sup>3</sup>JST/CREST)

10:00-10:15 2A02

ハプト藻培養試料から検出された特異的なステロールの考察

○加納 千紗都<sup>1</sup>, 沢田 健<sup>1</sup>, 中村 英人<sup>1</sup>, 白岩 善博<sup>2</sup>, 鈴木 岩根<sup>2</sup>, 新家 弘也<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北海道大学, <sup>2</sup>筑波大学)

10:15-10:30 2A03

ハプト藻 *Chrysothila lamellosa* のアルケノン、アルケン組成に対する塩分の効果

○中村 英人<sup>1</sup>, 沢田 健<sup>1</sup>, 新家 弘也<sup>2</sup>, 鈴木 石根<sup>2</sup>, 白岩 善博<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北海道大学, <sup>2</sup>筑波大学)

10:30-10:45 休憩

10:45-11:15 2A04 (招待講演)

地層中に存在するクロロフィル由来物質

○野本 信也<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学数理物質系)

11:15-11:30 2A05

好塩性アーキアの膜脂質イソプレノイド生成機構-ロイシン-メバロン酸経路と関連酵素の存在

○山内 敬明<sup>1</sup>, 田上 諒<sup>1</sup>(<sup>1</sup>九州大学)

11:30-11:45 2A06

アミノ酸の窒素同位体比を用いた生物の栄養段階解析：光合成の共生

○カ石 嘉人<sup>1</sup>, 土屋 正史<sup>1</sup>(<sup>1</sup>独立行政法人 海洋研究開発機構)

**セッションG17 分析化学・物理化学**

コンピーナ：平田岳史・横山哲也・大野 剛

9:00-9:15 2B01

準安定相ファエライトの圧力応答および未知高圧相の発見

○丸山 浩司<sup>1</sup>, 小松 一生<sup>1</sup>, 鍵 裕之<sup>1</sup>, 吉野 徹<sup>2</sup>, 中野 智志<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>東京都立産業技術研究センター, <sup>3</sup>物質・材料研究機構)

9:15-9:30 2B02

Sr を構造中に取り込んだカルサイト：非晶質炭酸カルシウムからの結晶化

○鍵 裕之<sup>1</sup>, 松沼 智史<sup>1</sup>, 丸山 浩司<sup>1</sup>, 吉野 徹<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>東京都立産業技術研究センター)

9:30-9:45 2B03

塩素安定同位体比分析の超高感度化と液体試料 処理時のブランク低減などの取り組み

今野 祐多<sup>1</sup>, 〇川口 慎介<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構)

9:45-10:00 2B04

茶葉のカフェイン中炭素と窒素の測定

○呉 晨<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大学院総合理工学研究所)

10:00-10:15 2B05

ICP-MS/MS による福島原発事故起源の長半減期放射性同位体測定法の開発

○大野 剛<sup>1</sup>, 村松 康行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>学習院大学)

10:15-10:30 2B06

CAI に含まれる金属組成の年代測定に向けた超高精度タングステン同位体比分析法の開発

○永井 友一朗<sup>1</sup>, 横山 哲也<sup>1</sup>, 岡林 識起<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学, <sup>2</sup>京都大学)

10:30-10:45 2B07

ETV-MC-ICPMS 法による微量タングステン同位体分析法の開発

○岡林 識起<sup>1</sup>, 坂田 周平<sup>1</sup>, 平田 岳史<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京都大学)

10:45-11:00 休憩

11:00-11:15 2B08

コンドライト隕石の超高精度 Sr 同位体測定に向けた新しい試料分解法の開発

○横山 哲也<sup>1</sup>, 山崎 洋<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学)

11:15-11:35 2B09 (招待講演)

DS-TIMS 法を用いた超高精度 Sr 安定同位体分析

○若木 重行<sup>1</sup>, 松岡 淳<sup>2</sup>, 永石 一弥<sup>2</sup>, 石川 剛志<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構, <sup>2</sup>マリンワークジャパン)

11:35-11:50 2B10

アッテネータ装置装置による LA-ICPMS 法のダイナミックレンジ拡張とその評価

○坂田 周平<sup>1</sup>, 平田 岳史<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科)

11:50-12:05 2B11

鉱物粒子解析装置 (MLA) を用いた効率的な局所分析

○昆 慶明<sup>1</sup>, 星野 美保子<sup>1</sup>, 平田 岳史<sup>2</sup>(<sup>1</sup>地質調査総合センター・産総研, <sup>2</sup>京都大学院理)

【C会場】

セッション G10 同位体効果研究の地球化学への応用  
 コンピーナ: 武蔵正明・大井隆夫・野村雅夫・谷水雅治

9:30-10:00 2C01 (招待講演)  
 後期始生代の黒色頁岩におけるイオウの化学種と MIF の分布  
 ○奈良岡 浩<sup>1</sup>, 森脇 絵美<sup>1</sup>, サイモン ポールソン<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九州大学, <sup>2</sup>ネバダ大学リノ校)

10:00-10:15 2C02  
 SO<sub>2</sub>の光解離における波長依存同位体分別、理論計算による高分解能スペクトルおよびセルフシルディング効果  
 ○ダニエラチェ セバスチアン<sup>1</sup>(<sup>1</sup>上智大学)

10:15-10:30 2C03  
 第一原理計算を用いた重原子同位体における核の体積効果の解明: 相対論効果の影響  
 ○根本 佳介<sup>1</sup>, 阿部 穰里<sup>1</sup>, 清野 淳司<sup>2</sup>, 波田 雅彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>首都大学東京, <sup>2</sup>早稲田大学)

10:30-10:45 2C04  
 イオン交換反応系における同位体効果 一鉄、ニッケル、鉛、について  
 ○野村 雅夫<sup>1</sup>, 藤井 靖彦<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学, <sup>2</sup>株式会社 NuSAC)

10:45-11:00 2C05  
 イオン交換反応にみられるホウ素同位体分別の圧力効果について  
 ○武蔵 正明<sup>1</sup>, 市川 寛之<sup>2</sup>, 大井 隆夫<sup>3</sup>(<sup>1</sup>芝浦工業大学, <sup>2</sup>旭ダイアモンド工業, <sup>3</sup>上智大学)

11:00-11:15 2C06  
 ICP 質量分析法におけるコリジョン・リアクションセルを利用した同位体分析の利点と限界  
 ○谷水 雅治<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構)

11:15-11:45 2C07 (招待講演)  
 トリウム同位体の環境科学への応用  
 ○廣瀬 勝己<sup>1</sup>(<sup>1</sup>上智大学)

【D会場】

セッション G7 地球表層水圏と生態系  
 コンピーナ: 丸岡照幸・和田茂樹・瀬戸蘭美・益田晴恵

10:00-10:15 2D01  
 沿岸の pH の変動要因としての海藻の役割  
 ○和田 茂樹<sup>1</sup>, 濱 健夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学)

10:15-10:30 2D02  
 Groundwater contamination with U and Th in Cox's Bazar paleo-beach aquifers, South-Eastern Bangladesh: Focusing on characteristics and fate in the environment  
 ○Ashraf Ali Seddique<sup>1</sup>, 益田 晴恵<sup>2</sup>, 丸岡 照幸<sup>3</sup>, Shaibur Rahman Molla<sup>1</sup>, Nur Alam<sup>1</sup>, Moklesur Rahman<sup>1</sup>, Matin Ahmed<sup>4</sup>, Ashraful Hoque<sup>5</sup>(<sup>1</sup>Jessore Science & Technology University, <sup>2</sup>大阪市立大学, <sup>3</sup>筑波大学, <sup>4</sup>University of Dhaka, <sup>5</sup>Marine Fisheries & Technology Station)

10:30-10:45 2D03  
 2011 年東北地方太平洋沖地震の津波浸水域の地下水の金属汚染とその原因  
 ○益田 晴恵<sup>1</sup>, 松山 彩華<sup>1</sup>, 吉本 幸平<sup>1</sup>, 丸岡 照幸<sup>2</sup>, 中屋 真司<sup>3</sup>, 新谷 毅<sup>1</sup>, 井川 怜欧<sup>4</sup>, 丸井 敦尚<sup>4</sup>, 淵田 茂司<sup>1</sup>, Even Emilie<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大阪市立大学, <sup>2</sup>筑波大学, <sup>3</sup>信州大学, <sup>4</sup>産業技術総合研究所)

10:45-11:00 2D04  
 化学合成細菌種が存在を予測するための新しい指標: ミニマルモデルによる解析  
 ○瀬戸 蘭美<sup>1</sup>(<sup>1</sup>奈良女子大学)

11:00-11:25 2D05 (招待講演)  
 河川水・湖水の硝酸および溶存無機炭素の安定同位体比による流域における窒素・炭素循環の解析  
 ○高津 文人<sup>1</sup>, 今井 章雄<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所)

11:25-11:50 2D06 (招待講演)  
 衛星データから湖沼のクロロフィル a 濃度を推定するアルゴリズムの開発  
 ○松下 文経<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学)

【E会場】

セッション G4 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用

コンピーナ: 高橋嘉夫・福土圭介・斉藤拓巳

10:00-10:15 2E01

Ln(III)同質同形化合物系列としての LnVO<sub>4</sub>-I. 格子定数と Ln-O 距離に認められるランタニド四組効果

○川邊 岩夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学)

10:15-10:30 2E02

δ-MnO<sub>2</sub> への金(III)、白金(II)錯イオンの共吸着と酸化還元反応

○前野 真実子<sup>1</sup>, 大橋 弘範<sup>2</sup>, 岡上 吉広<sup>1</sup>, 横山 拓史<sup>1</sup>(<sup>1</sup>九大院理, <sup>2</sup>九州大学基幹教育院)

10:30-10:45 2E03

局所分析で探る花崗岩によるセシウム取り込み挙動

○青井 裕介<sup>1</sup>(<sup>1</sup>金沢大学大学院)

10:45-11:00 2E04

分子軌道法および XAFS 法を用いたクロム酸やモリブデン酸の固相吸着に伴う同位体分別機構の解明

有賀 大輔<sup>1</sup>, 田中 雅人<sup>1</sup>, 柏原 輝彦<sup>2</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学, <sup>2</sup>海洋研究開発機構)

11:00-11:20 2E05 (招待講演)

イオン交換によるカルサイトの表面改質

○佐久間 博<sup>1</sup>, M. P. Andersson<sup>2</sup>, K. Bechgaard<sup>2</sup>, S. L. S. Stipp<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学, <sup>2</sup>コペンハーゲン大学)

11:20-11:35 2E06

岩石・鉱物の粉碎に伴う二酸化炭素の迅速吸収

○田中 剛<sup>1</sup>, 三村 耕一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学)

11:35-11:55 2E07 (招待講演)

多孔性粒子/水系における物質移動と汚染土壌浄化過程の研究

○中谷 清治<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学)

第2日目(9月12日)午後  
総会・受賞講演(G会場 大学会館講堂)

**総会**

13:00-15:00

- ・総会議事
- ・特別講演(中国鉱物岩石地球化学学会 Rui-Zhong Hu 会長)  
The Mesozoic mineralization in South China  
(14:30-14:50の予定。議事により前後)

**受賞講演**

15:00-15:25 2G01 (奨励賞)

地球史を通じた海底熱水系に関する地質学的、地球化学的、実験的研究  
渋谷 岳造<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構)

15:25-15:50 2G02 (奨励賞)

高時間分解能分析法を用いた海洋表層における揮発性有機化合物に関する研究  
亀山 宗彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>北海道大学)

15:50-16:15 2G03 (奨励賞)

微小領域分析法を用いた生物起源炭酸塩骨格の微量元素変動メカニズムに関する研究  
白井 厚太郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学)

16:15-16:20 休憩

16:20-16:45 2G04 (奨励賞)

X線吸収分光法を駆使したアンチモンやヒ素などの地球表層での挙動に関する研究  
光延 聖<sup>1</sup>(<sup>1</sup>静岡県立大学)

16:45-17:15 2G05 (学会賞)

大気水圏の炭素循環と地球温暖化に関連する地球化学的研究  
野尻 幸宏<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所)

【A会場】

【B会場】

セッションJ1 地球外物質科学の現状と未来

コンピーナ: 橋 省吾・三河内 岳

9:00-9:15 3A01

シリカが示唆する土星衛星エンセラダスにおける熱水活動  
○関根 康人<sup>1</sup>, 渋谷 岳造<sup>2</sup>, 鈴木 勝彦<sup>2</sup>, 桑谷 立<sup>3</sup>, 正木 裕香<sup>2</sup>, 橋 省吾<sup>4</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>海洋研究開発機構, <sup>3</sup>東北大学, <sup>4</sup>北海道大学)

9:15-9:30 3A02

表面照射年代法によるロナクレーターの年代決定および侵食過程の復元  
○中村 淳路<sup>1</sup>, 横山 祐典<sup>1</sup>, 関根 康人<sup>2</sup>, 後藤 和久<sup>3</sup>, 小松 吾郎<sup>4</sup>, P. Senthil Kumar<sup>5</sup>, 松崎 浩之<sup>2</sup>, 松井 孝典<sup>6</sup>(<sup>1</sup>東京大学大気海洋研究所, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>東北大学, <sup>4</sup>Universita d'Annunzio, <sup>5</sup>National Geophysical Research Institute, India, <sup>6</sup>千葉工業大学)

9:30-9:50 3A03 (招待講演)

初期太陽系年代学の統一的理解に向けて  
○飯塚 毅<sup>1</sup>(東京大学)

9:50-10:10 3A04 (招待講演)

Almahata Sitta 隕石から復元した母天体とラブル・パイル状天体の普遍性について  
○三河内 岳<sup>1</sup>, 青柳 雄也<sup>1</sup>, Michael Zolensky<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>NASA ジョンソン宇宙センター)

10:10-10:30 3A05 (招待講演)

希ガス同位体に基づく惑星物質科学  
○岡崎 隆司<sup>1</sup>(九州大学)

10:30-10:50 3A06 (招待講演)

コンドルールの酸素同位体比の系統的研究  
○木多 紀子<sup>1</sup>, 牛久保 孝行<sup>1</sup>, 中嶋 大輔<sup>1</sup>, Travis J. Tenner<sup>1</sup>, 木村 眞<sup>2</sup>(<sup>1</sup>ウィスコンシン大マディソン校, <sup>2</sup>茨城大学)

10:50-11:10 3A07 (招待講演)

隕石中に太陽系最古有機化合物を探す  
○奈良岡 浩<sup>1</sup>(九州大学)

11:10-11:30 3A08 (招待講演)

惑星物質研究における TEM の重要性と TEM 及び周辺技術の進歩について  
○野口 高明<sup>1</sup>(茨城大学)

11:30-11:50 3A09 (招待講演)

地球外物質の非破壊放射光分析の現状と将来  
○土山 明<sup>1</sup>(京都大学大学院理学研究科)

セッションG18 原発事故で放出された放射性核種の環境動態

コンピーナ: 高橋嘉夫・吉田尚弘・海老原充・恩田裕一

10:30-10:45 3B01

福島第一原発事故により放出された <sup>129</sup>I の陸域環境での分布状況と <sup>131</sup>I 降下量の復元  
○笹 公和<sup>1</sup>, 末木 啓介<sup>1</sup>, 高橋 努<sup>1</sup>, 松村 万寿美<sup>1</sup>, 松中 哲也<sup>1</sup>, 佐藤 志彦<sup>1</sup>, 柴山 尚大<sup>1</sup>, 木下 哲一<sup>2</sup>, 西原 健司<sup>3</sup>, 松崎 浩之<sup>4</sup>(<sup>1</sup>筑波大学, <sup>2</sup>清水建設, <sup>3</sup>日本原子力研究開発機構, <sup>4</sup>東京大学)

10:45-11:00 3B02

ヨウ素 129 の分析を通じた福島原発事故起源のヨウ素 131 の広がりとし着量の再構築  
○村松 康行<sup>1</sup>, 松崎 浩之<sup>2</sup>, 大野 剛<sup>1</sup>, 遠山 知亜紀<sup>1</sup>(<sup>1</sup>学習院大学, <sup>2</sup>東京大学)

11:00-11:15 3B03

福島原発事故に由来する川崎大気粒子状物質中の放射性 Cs の長期影響と化学形態  
○松野 弘貴<sup>1</sup>, 中町 鴻<sup>1</sup>, 本多 照幸<sup>1</sup>, 木川田 喜一<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京都市大学, <sup>2</sup>上智大学)

11:15-11:30 3B04

福島第一原発事故に関する大気観測と大気モデル研究  
○五十嵐 康人<sup>1</sup>, 足立 光司<sup>1</sup>, 田中 泰宙<sup>1</sup>, 梶野 瑞王<sup>1</sup>, 関山 剛<sup>1</sup>, 財前 祐二<sup>1</sup>, 三上 正男<sup>1</sup>(<sup>1</sup>気象研究所)

11:30-11:50 3B05 (招待講演)

放射性セシウムの大気シミュレーションの精緻化に向けた取り組み  
○森野 悠<sup>1</sup>, 大原 利真<sup>1</sup>, 弓本 桂也<sup>2</sup>, 佐竹 晋輔<sup>3</sup>, 西澤 匡人<sup>3</sup>(<sup>1</sup>国立環境研究所, <sup>2</sup>気象研究所, <sup>3</sup>日本エヌ・ユー・エス)

## 【C会場】

## 【D会場】

セッション G5 海洋における微量元素・同位体  
コンピーナ:小畑 元・張 勤・則末和宏・堀川恵司

9:00-9:15 3C01

海洋における銅安定同位体鉛直分布

○高野 祥太郎<sup>1</sup>, 宗林 由樹<sup>1</sup>, 平田 岳史<sup>2</sup>, 谷水 雅治<sup>3</sup>(<sup>1</sup>京都大学化学研究所, <sup>2</sup>京都大学, <sup>3</sup>独立行政法人海洋研究開発機構)

9:15-9:30 3C02

北太平洋北緯 47 度 KH-12-4 横断観測におけるバリウムの特徴

○大場 貴史<sup>1</sup>, 加藤 義久<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東海大学)

9:30-9:45 3C03

北太平洋の中深層における海水中の鉄(II)

○小畑 元<sup>1</sup>, 高橋 沙珠子<sup>1</sup>, 金 泰辰<sup>1</sup>, 蒲生 俊敬<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学)

9:45-10:00 3C04

インド洋における全クロムの分布について

○一色 健司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>高知県立大学)

10:00-10:15 3C05

インド洋中央部における深層海水中的ヘリウムの同位体比分布とその起源の推定

○高畑 直人<sup>1</sup>, 原 隆広<sup>1</sup>, 白井 厚太郎<sup>1</sup>, 大森 一人<sup>2</sup>, 佐野 有司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>北海道大学)

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45 3C06

西部南太平洋における海水の Nd 同位体比分布

○天川 裕史<sup>1</sup>, 田副 博文<sup>2</sup>, 小畑 元<sup>3</sup>, 蒲生 俊敬<sup>3</sup>, 佐野 有司<sup>3</sup>, 沈 川洲<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立台湾大学, <sup>2</sup>弘前大学, <sup>3</sup>東京大学大気海洋研究所)

10:45-11:00 3C07

魚歯化石のネオジム同位体比を用いた海水の起源解析

○小坂 由紀子<sup>1</sup>, 堀川 恵司<sup>1</sup>, 張 勤<sup>1</sup>, 申 基澈<sup>2</sup>, 中野 孝教<sup>2</sup>, 岡崎 裕典<sup>3</sup>, 佐川 拓也<sup>3</sup>, 小野寺 文尚太郎<sup>4</sup>, 朝日 博史<sup>5</sup>(<sup>1</sup>富山大学, <sup>2</sup>総合地球環境学研究所, <sup>3</sup>九州大学, <sup>4</sup>海洋研究開発機構, <sup>5</sup>釜山大学)

11:00-11:15 3C08

サンゴ骨格に記録された赤道太平洋表層水中の人工放射性核種 U-236 変動

○坂口 綾<sup>1</sup>, 江藤 飛鳥<sup>1</sup>, Peter Steier<sup>2</sup>, 山崎 敦子<sup>3</sup>, 渡邊 剛<sup>4</sup>, 佐々木 圭一<sup>5</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup>, 山野 博哉<sup>6</sup>(<sup>1</sup>広島大学, <sup>2</sup>ウイーン大学, <sup>3</sup>東京大学, <sup>4</sup>北海道大学, <sup>5</sup>金沢学院大学, <sup>6</sup>国立環境研究所)

11:15-11:30 3C09

KR13-02 調査航海で得られた南島島周辺における高濃度レアアース泥の空間分布と化学的特徴

○鈴木 勝彦<sup>1</sup>, 加藤 泰浩<sup>2</sup>, 飯島 耕一<sup>1</sup>, 中村 謙太郎<sup>1</sup>, 藤永 公一郎<sup>3</sup>, 西尾 嘉朗<sup>1</sup>, 町山 栄章<sup>1</sup>, 町田 嗣樹<sup>4</sup>, 原口 悟<sup>3</sup>, 安川 和孝<sup>3</sup>, 大田 隼一郎<sup>3</sup>, 野崎 達生<sup>1</sup>, KR13-02 乗船者一同<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構, <sup>2</sup>東京大学/海洋研究開発機構, <sup>3</sup>東京大学, <sup>4</sup>早稲田大学)

11:30-11:45 3C10

放射光を用いた南東太平洋レアアース泥へのレアアース濃集メカニズムの解明

○柏原 輝彦<sup>1</sup>, 戸田 隆一<sup>2</sup>, 安川 和孝<sup>2</sup>, 藤永 公一郎<sup>2</sup>, 中村 謙太郎<sup>2</sup>, 野崎 達生<sup>3</sup>, 高橋 嘉夫<sup>3</sup>, 鈴木 勝彦<sup>1</sup>, 加藤 泰浩<sup>2</sup>(<sup>1</sup>JAMSTEC, <sup>2</sup>東大, <sup>3</sup>広大)

11:45-12:00 3C11

オホーツク海北西陸棚域から運び出される アムール川起源の粒子態鉄 ~Fe・Nd 同位体による輸送過程の検証~

○安田 友紀<sup>1</sup>, 浅原 良浩<sup>1</sup>, 市川 諒<sup>1</sup>, 中塚 武<sup>1</sup>, 西岡 純<sup>2</sup>, 南 秀樹<sup>3</sup>, 長尾 誠也<sup>4</sup>, 谷水 雅治<sup>5</sup>, 申 基澈<sup>6</sup>, 河野 麻希子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学, <sup>2</sup>北海道大学, <sup>3</sup>東海大学, <sup>4</sup>金沢大学, <sup>5</sup>海洋開発研究機構, <sup>6</sup>総合地球環境学研究所)セッション G16 地球化学の人文科学への応用  
コンピーナ:丸岡照幸・北川浩之・宮田佳樹・南 雅代

9:00-9:25 3D01 (招待講演)

遺跡出土骨資料の年代推定に関する理化学的アプローチ

○近藤 恵<sup>1</sup>, 周藤 正史<sup>2</sup>, 平田 岳史<sup>3</sup>, 壇原 徹<sup>4</sup>, 岩野 英樹<sup>4</sup>, 松浦 秀治<sup>1</sup>(<sup>1</sup>お茶の水女子大学, <sup>2</sup>ポツダム大学, <sup>3</sup>京都大学, <sup>4</sup>株式会社 京都フィッショントラック)

9:25-9:40 3D02

核実験起源放射性炭素を利用した年代測定 (II)

○中村 俊夫<sup>1</sup>, 小池 裕子<sup>2</sup>, 鮎沢 潤<sup>3</sup>, 奥野 充<sup>3</sup>, 岡 誠<sup>1</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学, <sup>2</sup>九州大学, <sup>3</sup>福岡大学)

9:40-9:55 3D03

考古学へのジルコノロジー応用の可能性

○安間 了<sup>1</sup>, 谷口 陽子<sup>1</sup>, 丸岡 照幸<sup>1</sup>, 黒澤 正紀<sup>1</sup>(<sup>1</sup>筑波大学)

9:55-10:10 3D04

琵琶湖の淡水リザーバー効果と炭素年代測定への影響

○宮田 佳樹<sup>1</sup>, 荒巻 能史<sup>2</sup>, 南 雅代<sup>3</sup>, 太田 友子<sup>3</sup>, 遠部 慎<sup>4</sup>, 坂本 稔<sup>5</sup>, 今村 峯雄<sup>5</sup>, 中村 俊夫<sup>3</sup>(<sup>1</sup>金沢大学, <sup>2</sup>国立環境研究所, <sup>3</sup>名古屋大学, <sup>4</sup>徳島大学, <sup>5</sup>国立歴史民俗博物館)

10:10-10:35 3D05 (招待講演)

三元素同位体比分析法を組み合わせた遺跡出土土朱の産地同定の試み

○南 武志<sup>1</sup>, 河野 摩耶<sup>1</sup>, 武内 章規<sup>2</sup>, 高橋 和也<sup>3</sup>, 今津 節生<sup>4</sup>(<sup>1</sup>近畿大学, <sup>2</sup>国立環境研究所, <sup>3</sup>理化学研究所, <sup>4</sup>九州国立博物館)

10:35-11:00 3D06 (招待講演)

Sr 同位体比による漆の産地推定

○中井 俊一<sup>1</sup>, 佐藤 正教<sup>2</sup>, 武藤 龍一<sup>3</sup>, 宮腰 哲雄<sup>3</sup>, 本多 貴之<sup>3</sup>, 吉田 邦夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学, <sup>2</sup>日本大学, <sup>3</sup>明治大学)



【E会場】

セッション S2 初期地球と生命起源の地球化学

コンピーナ: 藪田ひかる・古川善博・小宮剛・吉田尚弘・平田岳史

9:00-9:20 3E01 (招待講演)

A Comparison of the Amino Acids Synthesized in Miller-Urey and Titan Simulations and Those Found in Carbonaceous Chondrites

○Henderson James Cleaves II<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学)

9:20-9:40 3E02 (招待講演)

アポロ試料に残された後期重爆撃の痕跡

○新原 隆史<sup>1</sup>, ベアード スカイ<sup>2</sup>, スウィンドル ティモシー<sup>2</sup>, クリング デービッド<sup>3</sup>(<sup>1</sup>国立極地研究所, <sup>2</sup>アリゾナ大学, <sup>3</sup>米国月惑星研究所)

9:40-9:55 3E03

地球における彗星起源の揮発性元素量の推定

○横地 玲果<sup>1</sup>(<sup>1</sup>シカゴ大学)

9:55-10:10 3E04

海底熱水噴出孔の熱水環境を模擬した反応装置と生命誕生に至る化学進化過程

○今井 栄一<sup>1</sup>, 本多 元<sup>1</sup>(<sup>1</sup>長岡技術科学大学)

10:10-10:25 3E05

リボースの安定性に対するホウ酸およびケイ酸の影響

○古川 善博<sup>1</sup>, 堀内 真愛<sup>1</sup>, 新田 祥子<sup>1</sup>, 掛川 武<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大学)

10:25-10:45 3E06 (招待講演)

エンセラダスと初期地球の熱水系生物利用可能エネルギー

○渋谷 岳造<sup>1</sup>, 関根康人<sup>2</sup>, 高井研<sup>1</sup>, Michael J. Russell<sup>3</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>Jet Propulsion Laboratory)

10:45-11:00 休憩

11:00-11:15 3E07

最古表成岩の産状と表層環境解読: 太古代初期カナダ・ラブラドルネオン岩体の地質と堆積岩の地球化学

○小宮 剛<sup>1</sup>, 山本 伸次<sup>1</sup>, 下條 将徳<sup>1</sup>, 青木 翔吾<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学)

11:15-11:30 3E08

西グリーンランド・イスア表成岩帯におけるグラファイトの成因と生命の痕跡

○大友 陽子<sup>1</sup>, 掛川 武<sup>2</sup>, 石田 章純<sup>3</sup>(<sup>1</sup>独立行政法人海洋研究開発機構, <sup>2</sup>東北大学大学院理学研究科, <sup>3</sup>東京大学)

11:30-11:45 3E09

原生代前期ガーナ・エンスタマンガン鉱床の地球化学的特徴: 海洋酸化還元環境への示唆

○後藤 孝介<sup>1</sup>, 伊藤 孝<sup>2</sup>, 鈴木 勝彦<sup>3</sup>, 柏原 輝彦<sup>3</sup>, 高谷 雄太郎<sup>4</sup>, 下田 玄<sup>1</sup>, 野崎 達生<sup>3</sup>, 仙田 量子<sup>3</sup>, 清川 昌一<sup>5</sup>, Frank K. Nyame<sup>6</sup>(<sup>1</sup>産総研, <sup>2</sup>茨城大学, <sup>3</sup>海洋研究開発機構, <sup>4</sup>東京大学, <sup>5</sup>九州大学, <sup>6</sup>ガーナ大学)

11:45-12:00 3E10

古酸化還元指標としてのセリウム安定同位体分別

○中田 亮一<sup>1</sup>, 谷水 雅治<sup>2</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学, <sup>2</sup>海洋研究開発機構)

12:00-12:15 3E11

古原生代全球凍結イベントの炭素同位体地球化学

○塚原 直<sup>1</sup>, 藪田 ひかる<sup>1</sup>, 池原 実<sup>2</sup>, アンドレ ベッカー<sup>3</sup>(<sup>1</sup>大阪大学, <sup>2</sup>高知大学, <sup>3</sup>マニトバ大学)

【A会場】

セッションJ1 地球外物質科学の現状と未来  
コンピーナ: 橋 省吾・三河内 岳

14:00-14:20 3A10 (招待講演)  
炭素質コンドライトの反射スペクトルによるC型小惑星の分光特性精密化  
○中村 智樹<sup>1</sup>, 三須 貴瑛<sup>1</sup>, 松岡 萌<sup>1</sup>, 脇田 茂<sup>2</sup>, 廣井 孝弘<sup>3</sup>, 佐々木 晶<sup>4</sup> (<sup>1</sup>東北大学, <sup>2</sup>筑波大学, <sup>3</sup>ブラウン大学, <sup>4</sup>大阪大学)

14:20-14:40 3A11 (招待講演)  
宇宙物質分析の未来予想図  
○塚本 尚義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道大学)

14:40-15:00 3A12 (招待講演)  
国立極地研究所における南極隕石のキュレーションの現状と将来  
○山口 亮<sup>1</sup>, 今栄 直也<sup>1</sup>, 木村 真<sup>2</sup>, 海老原 充<sup>3</sup>, 白井 直樹<sup>3</sup>, 富村 智子<sup>1</sup>, 小澤 信<sup>1</sup>, 小島 秀康<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国立極地研究所, <sup>2</sup>茨城大学, <sup>3</sup>首都大学東京)

15:00-15:20 3A13 (招待講演)  
はやぶさ2が挑戦する地球外物質科学  
○渡邊 誠一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大学)

15:20-15:40 3A14 (招待講演)  
2020年代の小天体サンプルリターン地上回収に向けた戦略  
○高野 淑識<sup>1</sup> (<sup>1</sup>海洋研究開発機構)

15:40-16:00 3A15 (招待講演)  
宇宙における分子進化: 星間雲から原始惑星系へ  
○香内 晃<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北海道大学)

16:00-16:15 3A16 全体議論

【B会場】

セッションG18 原発事故で放出された放射性核種の環境動態  
コンピーナ: 高橋嘉夫・吉田尚弘・海老原充・恩田裕一

14:00-14:15 3B06  
東京湾底質における福島第一原発事故由来の放射性セシウムの濃度変化  
○添盛 晃久<sup>1</sup>, 小豆川 勝見<sup>1</sup>, 野川 憲夫<sup>1</sup>, 捨垣 正吾<sup>1</sup>, 松尾 基之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大学)

14:15-14:30 3B07  
福島第一原子力発電所から海洋へのセシウム137の継続流出量推定  
○神田 穰太<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京海洋大学)

14:30-14:45 3B08  
東電福島第一原子力発電所事故で海洋に放出された核分裂生成物および中性子放射化生成物の挙動  
○青山 道夫<sup>1</sup>, 浜島 靖典<sup>2</sup>, 芳村 毅<sup>3</sup>, 本多 牧生<sup>4</sup>, 喜多村 稔<sup>4</sup>, Mikael Hult<sup>5</sup> (<sup>1</sup>気象研究所, <sup>2</sup>金沢大学, <sup>3</sup>(財)電力中央研究所, <sup>4</sup>(独)海洋研究開発機構, <sup>5</sup>Institute for Reference Materials and Measurements)

14:45-15:00 3B09  
東電福島第一原子力発電所事故後の海洋堆積物中のPuについて  
○鄭 建<sup>1</sup>, ト 文庭<sup>1</sup>, 青野 辰雄<sup>1</sup>, 郭 秋菊<sup>2</sup>, 田上 恵子<sup>1</sup>, 内田 滋夫<sup>1</sup>, 山田 政俊<sup>3</sup> (<sup>1</sup>放射線医学総合研究所, <sup>2</sup>北京大学, <sup>3</sup>弘前大学)

15:00-15:15 3B10  
福島原発事故で輸送された放射性物質の化学状態  
○末木 啓介<sup>1</sup>, 半田 晃士<sup>1</sup>, 佐藤 志彦<sup>1</sup>, 足立 光司<sup>2</sup>, 五十嵐 康人<sup>2</sup> (<sup>1</sup>筑波大学, <sup>2</sup>気象庁)

15:15-15:35 3B11 (招待講演)  
土壌の放射性セシウム固定力評価  
○山口 紀子<sup>1</sup>, 塚田 祥文<sup>2</sup>, 武田 晃<sup>3</sup>, 高田 裕介<sup>1</sup>, 神山 和則<sup>1</sup>, 谷山 一郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>(独)農業環境技術研究所, <sup>2</sup>福島大学, <sup>3</sup>(公財)環境科学技術研究所)

15:35-15:50 3B12  
Relationship between Adsorption Species of Cesium and Radiocesium Interception Potential (RIP) for Soil and Clay Minerals  
○Fan Qiaohui<sup>1</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup>, 山口 紀子<sup>2</sup>, 田中 雅人<sup>1</sup> (<sup>1</sup>広島大学, <sup>2</sup>農業環境技術研究所)

15:50-16:05 3B13  
夏井川-仁井田川河口域周辺における懸濁態および溶存態放射性セシウムの存在割合  
○帰山 秀樹<sup>1</sup>, 児玉 真史<sup>1</sup>, 青木 一弘<sup>1</sup>, 安倍 大介<sup>1</sup>, 小埜 恒夫<sup>1</sup>, 八木 宏<sup>2</sup>, 渡邊 朝生<sup>1</sup> (<sup>1</sup>水産総合研究センター中央水産研究所, <sup>2</sup>水産総合研究センター水産工学研究所)

16:05-16:20 3B14  
河床堆積物中の放射性セシウムの粒径別分布  
○田中 万也<sup>1</sup>, 岩谷 北斗<sup>1</sup>, 坂口 綾<sup>1</sup>, 高橋 嘉夫<sup>1</sup>, 恩田 裕一<sup>2</sup> (<sup>1</sup>広島大学, <sup>2</sup>筑波大学)

【C会場】

【D会場】

セッション G13 海洋化学・大気水圏(全般)

コンピーナ: 植松光夫・濱健夫

14:00-14:15 3C12

大気中ジブロモメタンの長期高頻度観測と発生源の解析  
○横内 陽子<sup>1</sup>, 斉藤 拓也<sup>1</sup>, 向井 人史<sup>1</sup> (1国立環境研究所)

14:15-14:30 3C13

南大洋から北極海における揮発性有機ヨウ素化合物の分布と生成過程  
○大木 淳之<sup>1</sup>, 川崎 修歩<sup>1</sup>, 久万 健志<sup>1</sup>, 横内 陽子<sup>2</sup> (1北海道大学, 2国立環境研究所)

14:30-14:45 3C14

南大洋インド洋区における海洋表層中イソプレン濃度の高分解能測定  
吉田 怜<sup>1</sup>, ○亀山 宗彦<sup>1</sup>, 谷本 浩志<sup>2</sup>, 奥沢 和浩<sup>2</sup>, 猪俣 敏<sup>2</sup>, 鈴木 光次<sup>1</sup>, 吉川 久幸<sup>1</sup> (1北海道大学, 2独立行政法人国立環境研究所)

14:45-15:00 3C15

海洋表層二酸化炭素分圧観測データを用いた北太平洋の炭酸系マッピング  
○野尻 幸宏<sup>1</sup>, 中岡 慎一郎<sup>1</sup>, 安中 さやか<sup>1</sup>, 碓氷 典久<sup>2</sup> (1国立環境研究所, 2気象研究所)

15:00-15:15 3C16

北太平洋西部亜熱帯域・熱帯域における海洋酸性化  
○石井 雅男<sup>1</sup>, 笹野 大輔<sup>1</sup>, 小杉 如央<sup>1</sup>, 中野 英之<sup>1</sup>, 延与 和敬<sup>2</sup>, 中野 俊也<sup>2</sup>, 緑川 貴<sup>3</sup>, 吉川 久幸<sup>4</sup> (1気象研究所, 2気象庁, 3長崎海洋気象台, 4北海道大学大学院)

15:15-15:30 3C17

北海 Sleipner サイトにおける CO<sub>2</sub> 漏洩観測  
○下島 公紀<sup>1</sup> (1九州大学)

15:30-15:45 3C18

北極海表面で観測された高濃度 CH<sub>4</sub> および CO<sub>2</sub> との関連性  
○笹野 大輔<sup>1</sup>, 石井 雅男<sup>1</sup>, 小杉 如央<sup>1</sup>, 豊田 栄<sup>2</sup>, 山田 桂大<sup>2</sup>, 工藤 久志<sup>2</sup>, 吉田 尚弘<sup>2</sup>, 吉川 久幸<sup>3</sup>, 三船 尊久<sup>4</sup>, 川合 美千代<sup>4</sup>, 村田 昌彦<sup>5</sup>, 内田 裕<sup>5</sup>, 西野 茂人<sup>5</sup>, 菊地 隆<sup>5</sup> (1気象研究所, 2東京工業大学, 3北海道大学, 4東京海洋大学, 5海洋研究開発機構)

15:45-16:00 3C19

水圏環境におけるメタン酸化の新指標: 炭素と水素の複合同位体分別  
○小松 大祐<sup>1</sup>, 角皆 潤<sup>1</sup>, 佐藤 晋太郎<sup>2</sup>, 中川 書子<sup>2</sup>, 田中 敦<sup>3</sup> (1名古屋大学, 2北海道大学, 3国立環境研究所)

16:00-16:15 3C20

連続流れ分析法を用いた海水中の溶けけい素の精密定量法の開発  
○チョン 千香子<sup>1</sup>, 三浦 勉<sup>1</sup>, 日置 昭治<sup>1</sup> (1独立行政法人 産業技術総合研究所)

16:15-16:30 3C21

ケイ藻のデジタルアクション V 太平洋の高い εNd はケイ藻に由来する  
○赤木 右<sup>1</sup>, 安田 早希<sup>1</sup>, 浅原 良浩<sup>2</sup>, 江本 真理子<sup>1</sup>, 高橋 孝三<sup>3</sup> (1九州大学, 2名古屋大学, 3北星学園大学)

セッション J3 炭酸塩の地球化学

コンピーナ: 川幡穂高・小暮敏博・鈴木淳

14:00-14:15 3D07

生態指標としての浮遊性有孔虫同位体比成長履歴  
○高木 悠花<sup>1</sup>, 守屋 和佳<sup>2</sup>, 石村 豊穂<sup>3</sup>, 鈴木 淳<sup>4</sup>, 川幡 穂高<sup>5</sup>, 平野 弘道<sup>1</sup> (1早稲田大学, 2金沢大学, 3茨城工業高等専門学校, 4産業技術総合研究所, 5東京大学)

14:15-14:30 3D08

二枚貝の貝殻微細構造形成に水温の与える影響 —アカガイを例に—  
○西田 梢<sup>1</sup>, 鈴木 淳<sup>2</sup>, 石村 豊穂<sup>3</sup>, 磯野 良介<sup>4</sup>, 林 正裕<sup>4</sup>, 渡邊 裕介<sup>4</sup>, 山本 雄三<sup>4</sup>, 野尻 幸宏<sup>5</sup>, 森 千晴<sup>6</sup>, 佐藤 瑞穂<sup>1</sup>, 佐藤 圭<sup>6</sup>, 佐々木 猛智<sup>7</sup> (1産業技術総合研究所, 2産総研, 3茨城高専, 4海洋生物環境研究所, 5国立環境研究所, 6東京大学, 7東京大学総合研究博物館)

14:30-14:45 3D09

Aragonite 表面における2価陽イオンの安定性: 第一原理計算による考察  
○川野 潤<sup>1</sup>, 佐久間 博<sup>2</sup>, 永井 隆哉<sup>1</sup> (1北海道大学, 2東京工業大学)

14:45-15:00 3D10

琵琶湖堆積物中の炭酸塩の炭素・酸素同位体比の変動  
○長澤 重信<sup>1</sup>, 北川 浩之<sup>1</sup>, 林田 明<sup>2</sup>, 竹村 恵二<sup>3</sup> (1名古屋大学, 2同志社大学, 3京都大学)

15:00-15:15 3D11

スペシエーションマッピングによる化学形態を区別した生物炭酸塩中硫黄化合物の分布測定  
○為則 雄祐<sup>1</sup>, 吉村 寿紘<sup>2</sup>, Nguyen Trong Luan<sup>3</sup>, 長谷川 浩<sup>3</sup>, 鈴木 淳<sup>4</sup>, 川幡 穂高<sup>5</sup>, 岩崎 望<sup>6</sup> (1公益財団法人高輝度光科学研究センター, 2独立行政法人海洋研究開発機構, 3金沢大学, 4独立行政法人産業技術総合研究所, 5東京大学, 6立正大学)

15:15-15:30 3D12

サンゴ骨格形成時のカルシウム同位体分別の変動要因  
○井上 麻夕里<sup>1</sup>, Nikolaus Gussone<sup>2</sup>, 古賀 奏子<sup>3</sup>, 岩瀬 晃啓<sup>3</sup>, 鈴木 淳<sup>4</sup>, 酒井 一彦<sup>3</sup>, 川幡 穂高<sup>1</sup> (1東京大学・大気海洋研究所, 2ミンスター大学, 3琉球大学・熱帯生物圏研究センター, 4産業技術総合研究所)

15:30-15:45 3D13

サンゴ骨格の気候指標の安定性・頑強性について  
○鈴木 淳<sup>1</sup>, 井上 麻夕里<sup>2</sup>, 井口 亮<sup>3</sup>, 中村 崇<sup>3</sup>, 酒井 一彦<sup>3</sup>, 川幡 穂高<sup>2</sup> (1産業技術総合研究所, 2東京大学, 3琉球大学)

第3日目(9月13日)ポスターセッション  
ポスター会場(1E棟1階P会場),コアタイム 12:30~14:00

セッションG18 原発事故で放出された放射性核種の環境動態

3P01  
霞ヶ浦底質中の放射性セシウムの水平・鉛直分布と経時変動  
○田中 敦<sup>1</sup>, 苅部 基一<sup>1</sup>, 高津 文人<sup>1</sup>, 今井 章雄<sup>1</sup>, 林 誠二<sup>1</sup> (国立環境研究所)

3P02  
地質調査総合センターで2012年に観測されたエアロゾル中放射性核種の濃度変化と再飛散  
○金井 豊<sup>1</sup> (産業技術総合研究所 地質調査総合センター)

3P03  
福島県<sup>134</sup>Cs/<sup>137</sup>Cs比地図  
○青山 智夫<sup>1</sup>, 若月 泰孝<sup>1</sup> (筑波大学)

3P04  
千葉県大堀川における<sup>137</sup>Cs及び<sup>129</sup>Iの濃度の経時変化  
○柴山 尚大<sup>1</sup>, 末木 啓介<sup>1</sup>, 笹 公和<sup>1</sup>, 佐藤 志彦<sup>1</sup>, 高橋 努<sup>1</sup>, 松村 万寿美<sup>1</sup>, 松崎 浩之<sup>2</sup>, 村上 道夫<sup>2</sup>, 沖 大幹<sup>2</sup>, 山下 麗<sup>3</sup>, Mahua Saha<sup>3</sup>, 高田 秀重<sup>3</sup>, 鯉淵 幸生<sup>2</sup>, Soukichan Lamxay<sup>2</sup> (筑波大学, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>東京農工大学)

3P05  
陽イオン混合溶液によるスメクタイトからのセシウム溶出挙動  
○酒井 遥<sup>1</sup> (金沢大学)

3P06  
放射性ストロンチウム分析法の再検討~簡略化を目指して~  
○苅部 基一<sup>1</sup>, 田中 敦<sup>1</sup>, 柴田 康行<sup>1</sup> (国立環境研究所)

3P07  
福島県松川浦における放射性セシウムの移動と堆積状況の把握  
○神林 翔太<sup>1</sup>, 張 勁<sup>1</sup>, 成田 尚史<sup>2</sup> (富山大学, <sup>2</sup>東海大学)

3P08  
森林土壌における放射性セシウム動態に関するバッチ抽出実験の予備検討  
○越川 昌美<sup>1</sup>, 伊藤 祥子<sup>1</sup>, 渡邊 未来<sup>1</sup>, 錦織 達啓<sup>1</sup>, 村田 智吉<sup>1</sup>, 高松 武次郎<sup>1</sup>, 林 誠二<sup>1</sup> (国立環境研究所)

3P09  
化学抽出による土壌中放射性セシウムの吸着状態の検証  
○佐藤 志彦<sup>1</sup>, 末木 啓介<sup>1</sup>, 笹 公和<sup>1</sup>, 大竹 良徳<sup>1</sup>, 国分 宏城<sup>2</sup> (筑波大学, <sup>2</sup>日本大学)

3P10  
東電福島原発事故後の北西部北太平洋における放射性セシウム濃度分布および経年変化について  
○福田 美保<sup>1</sup>, 青野 辰雄<sup>1</sup>, 吉田 聡<sup>1</sup>, 本多 牧生<sup>2</sup>, 川上 創<sup>2</sup>, 才野 敏郎<sup>2</sup> (独)放射線医学総合研究所, <sup>2</sup>海洋研究開発機構)

3P11  
2012年1-2月の北西部太平洋における福島第一原子力発電所由来放射性セシウムの分布 第2報  
○熊本 雄一郎<sup>1</sup>, 村田 昌彦<sup>1</sup>, 河野 健<sup>1</sup>, 青山 道夫<sup>2</sup> (海洋研究開発機構, <sup>2</sup>気象研究所)

セッションG5 海洋における微量元素・同位体

3P12  
炭酸塩鉱物沈殿反応におけるストロンチウム同位体分別  
○肆矢 俊浩<sup>1</sup>, 大野剛<sup>1</sup>, 下田 玄<sup>2</sup>, 後藤孝介<sup>2</sup>, 村松康行<sup>1</sup> (学習院大学大学院, <sup>2</sup>産業技術総合研究所)

3P13  
アサリの有害金属元素組成と潮間帯汚染指標としての可能性の検討  
○石田 大也<sup>1</sup>, 林 誠司<sup>1</sup>, 山本 鋼志<sup>1</sup> (名古屋大学)

セッションG13 海洋化学・大気水圏(全般)

3P14  
ケイ藻のデジタルアクションVI:ケイ藻オパール中元素濃度のボックスモデルによる解析  
○江本 真理子<sup>1</sup>, 赤木 右<sup>1</sup>, 高橋 孝三<sup>2</sup> (九州大学, <sup>2</sup>北星学園大学)

3P15  
北太平洋表層栄養塩の時空間マッピング  
○安中 さやか<sup>1</sup>, 野尻 幸宏<sup>1</sup>, 中岡 慎一郎<sup>1</sup>, 小笠 恒夫<sup>2</sup>, Frank A. Whitney<sup>3</sup> (国立環境研究所, <sup>2</sup>水産総合研究センター, <sup>3</sup>Fisheries and Oceans Canada)

3P16  
簡易型海洋二酸化炭素分圧測定装置の試作評価  
○鶴島 修夫<sup>1</sup>, 紀本 英志<sup>2</sup>, 木下 勝元<sup>2</sup>, 江頭 毅<sup>2</sup>, 野尻 幸宏<sup>3</sup>, 磯野 良介<sup>4</sup>, 林 正裕<sup>4</sup>, 山本 雄三<sup>4</sup>, 諏訪 僚太<sup>5</sup>, 播本 孝史<sup>6</sup>, 後藤 浩一<sup>6</sup> (産業技術総合研究所, <sup>2</sup>紀本電子工業(株), <sup>3</sup>国立環境研究所, <sup>4</sup>海洋生物環境研究所, <sup>5</sup>京都大学, <sup>6</sup>環境総合テクノス)

セッションG16 地球化学の人文科学への応用

3P17  
イラン新石器時代タペ・サンギチャハマック遺跡の土器の組織と構成鉱物  
○黒澤 正紀<sup>1</sup>, 常木 晃<sup>1</sup> (筑波大学)

セッションJ3 炭酸塩の地球化学

3P18  
枝状サンゴの微細組織観察  
○齋 聡子<sup>1</sup>, 永井 隆哉<sup>1</sup>, 岨 康輝<sup>1</sup>, 川野 潤<sup>2</sup>, 渡邊 剛<sup>1</sup> (北海道大学大学院理学院, <sup>2</sup>北海道大学)

3P19  
生物起源炭酸カルシウムにおけるマグネシウムの化学形態  
○吉村 寿紘<sup>1</sup>, 為則 雄祐<sup>2</sup>, 高橋 修<sup>3</sup>, Nguyen T. Luan<sup>4</sup>, 長谷川 浩<sup>4</sup>, 岩崎 望<sup>5</sup>, 鈴木 淳<sup>6</sup>, 川幡 穂高<sup>7</sup> (海洋研究開発機構, <sup>2</sup>JASRI/Spring8, <sup>3</sup>広島大学, <sup>4</sup>金沢大学, <sup>5</sup>立正大学, <sup>6</sup>産業技術総合研究所, <sup>7</sup>東京大学)

3P20  
高pCO<sub>2</sub>海水に曝された大型底生有孔虫の炭酸塩殻の炭素同位体比記録  
○氷上 愛<sup>1</sup>, 石村 豊穂<sup>2</sup>, 藤田 和彦<sup>3</sup>, 鈴木 淳<sup>4</sup>, 野尻 幸宏<sup>5</sup>, 酒井 一彦<sup>3</sup>, 川幡 穂高<sup>1</sup> (東大東大気海洋研, <sup>2</sup>茨城高専, <sup>3</sup>琉球大学, <sup>4</sup>産総研, <sup>5</sup>環境研)

3P21  
本邦シルル紀石灰岩の微量重金属元素含量  
○山本 栄仁<sup>1</sup>, 相澤 省一<sup>1</sup> (群馬大学大学院工学研究科)

セッションS2 初期地球と生命起源の地球化学

3P22  
地球外物質衝突による初期地球有機物の多様化  
鈴木 千月香<sup>1</sup>, 古川 善博<sup>1</sup>, 小林 敬道<sup>2</sup>, 関根 利守<sup>3</sup>, 中沢 弘基<sup>2</sup>, 掛川 武<sup>1</sup> (東北大学, <sup>2</sup>物質材料研究機構, <sup>3</sup>広島大学)

3P23  
コンドライト隕石の高強度レーザー衝撃圧縮実験で生じる揮発性炭素化合物  
○数田 ひかる<sup>1</sup>, 境家 達弘<sup>1</sup>, 近藤 忠<sup>1</sup>, 大野 宗佑<sup>2</sup>, 中林 誠<sup>1</sup>, 門野 敏彦<sup>3</sup>, 重森 啓介<sup>1</sup>, 弘中 陽一郎<sup>1</sup>, 山中 高光<sup>4</sup> (大阪大学大学院, <sup>2</sup>千葉工業大学, <sup>3</sup>産業医科大学, <sup>4</sup>カーネギー研究所)

3P24  
プルシアンブルーの表面吸着・酸化還元機能性とCold Origin of Life説における化学進化的役割  
○小林 潤平<sup>1</sup>, 数田 ひかる<sup>2</sup> (東京大学大学院理学系研究科, <sup>2</sup>大阪大学大学院理学研究科)

3P25  
様々な鉱物のGly重合促進効果についての実験的評価  
○大西 浩之<sup>1</sup> (金沢大学)

3P26  
北大西洋中央海嶺North Pond玄武岩地下生命圏を有機地球化学的に探る試み  
○坂田 霞<sup>1</sup>, 数田 ひかる<sup>1</sup>, 池原 実<sup>2</sup>, 近藤 忠<sup>1</sup> (大阪大学, <sup>2</sup>高知大学)

3P27

第3日目(9月13日)ポスターセッション  
ポスター会場(1E棟1階P会場),コアタイム 12:30~14:00

水中の分子の熱運動による分子の組織の生成  
○唐澤 信司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>宮城工業高等専門学校)

**セッションG17 分析化学・物理化学**

3P28  
希土類元素分配則におけるAIMAI効果の再訪  
○田中 夕貴<sup>1</sup>,赤木 右<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九州大学 大学院理学院,<sup>2</sup>九州大学 大学院理学研究院)

3P29  
陸域炭酸塩中の炭素安定同位体による環境情報保存のオンサイトでの分析  
○栗崎 弘輔<sup>1</sup>(<sup>1</sup>九州大学)

3P30  
多重検出型 ICP 質量分析計を用いた火山岩試料の高精度ホウ素同位体比迅速測定法の検討  
○永石 一弥<sup>1</sup>,谷水 雅治<sup>2</sup>,石川 剛志<sup>2</sup>(<sup>1</sup>(株)マリン・ワーク・ジャパン,<sup>2</sup>(独)海洋研究開発機構)

3P31  
地球外物質中に含まれるTiの分離方法の開発  
西原 克<sup>1</sup>,○山下 勝行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>岡山大学)

3P32  
MC-ICP-MSを使用した、ダブルスパイク-サンプルブラケット法による高精度Ba安定同位体分析法  
○宮崎 隆<sup>1</sup>,木村 純一<sup>1</sup>,常 青<sup>1</sup>(<sup>1</sup>独立行政法人海洋研究開発機構)

3P33  
化学種解析及び同位体比測定に基づく室内塵と保育園土壌に含まれる重金属元素の起源解明  
○山田 綾子<sup>1</sup>,Haibo QIN<sup>2</sup>,高畑 直人<sup>3</sup>,佐野 有司<sup>3</sup>,高橋 嘉夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大・院理,<sup>2</sup>Institute of Geochemistry (CAS),<sup>3</sup>東京大・大気海洋研)

3P34  
鉄同位体比変化に基づく生体内鉄代謝評価法の開発  
○平田 岳史<sup>1</sup>,高田 航史郎<sup>1</sup>,坂田 周平<sup>1</sup>,川崎 隆広<sup>1</sup>,岡林 識起<sup>1</sup>,高田 和子<sup>2</sup>(<sup>1</sup>京都大学大学院,<sup>2</sup>国立栄養研究所)

3P35  
走査型透過軟X線顕微鏡(STXM)の開発とBacteriogenic Iron Oxides(BIOS)への応用  
○菅 大暉<sup>1</sup>,武市 泰男<sup>2</sup>,井波 暢人<sup>2</sup>,小野 寛太<sup>2</sup>,菊池 早希子<sup>1</sup>,高橋 嘉夫<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広島大学大学院,<sup>2</sup>高エネルギー加速器研究機構物質構造化学研究所)

**セッションG7 地球表層水圏と生態系**

3P36  
DNAバイオマーカーを利用した海洋堆積物中有機炭素の起源評価の試み  
浜口 昌巳<sup>1</sup>,○宮島 利宏<sup>2</sup>,堀 正和<sup>1</sup>,島袋 寛盛<sup>1</sup>,吉田 吾郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>水産総合研究センター,<sup>2</sup>東京大学)

**セッションG4 鉱物境界面の地球化学、水-岩石相互作用**

3P37  
ナノサイズアルミニウムケイ酸塩によるPb<sup>2+</sup>の吸着挙動  
○牛山 智樹<sup>1</sup>(<sup>1</sup>金沢大学、理工学域)

3P38  
鉄マンガンクラスト中のHFS元素に関する研究  
○井上 美南<sup>1</sup>,坂口 綾<sup>1</sup>,高橋 嘉夫<sup>1</sup>,臼井 朗<sup>2</sup>(<sup>1</sup>広島大学大学院,<sup>2</sup>高知大学)

3P39  
マンガン酸化鉱物の表面でのマンガン(II)イオンの酸化反応速度—pH=8付近の水溶液中で  
○豊田 和弘<sup>1</sup>,笠原 翔<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北海道大学,<sup>2</sup>山口県庁)

